

# 沖縄県

# 歯科医師会誌

*The Journal of the Okinawa Dental Association*

2023.November Vol 4



最優秀賞  
タイトル「孫」

優秀賞  
タイトル「虫歯ゼロ」



歯がんじゅう賞  
タイトル「ひ孫と一緒にスマイル」

## Topics

- ★沖縄県歯科医師会組織図
- ★各委員会名簿及び事業計画
- ★第1回 臨時代議員会
- ★沖縄歯科衛生士学校Open Campus
- ★体育祭を終えて
- ★第75回九州歯科医学大会
- ★ハーモニカに再会…八十の手習い
- ★ここまで来てしまった環境汚染・環境破壊

調査広報理事 平良 和枝

専任教員 新垣 花絵

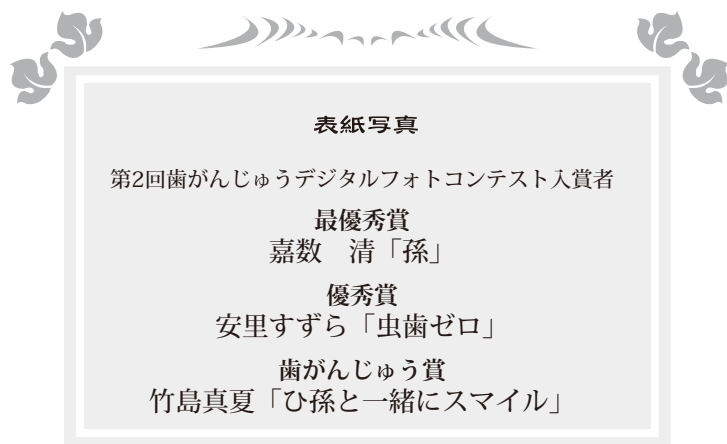
2年 島袋音絵／仲本さくらこ

上原 淳

上原 淳



(一社)沖縄県歯科医師会



表紙写真

第2回歯がんじゅうデジタルフォトコンテスト入賞者

最優秀賞

嘉数 清「孫」

優秀賞

安里すずら「虫歯ゼロ」

歯がんじゅう賞

竹島真夏「ひ孫と一緒にスマイル」

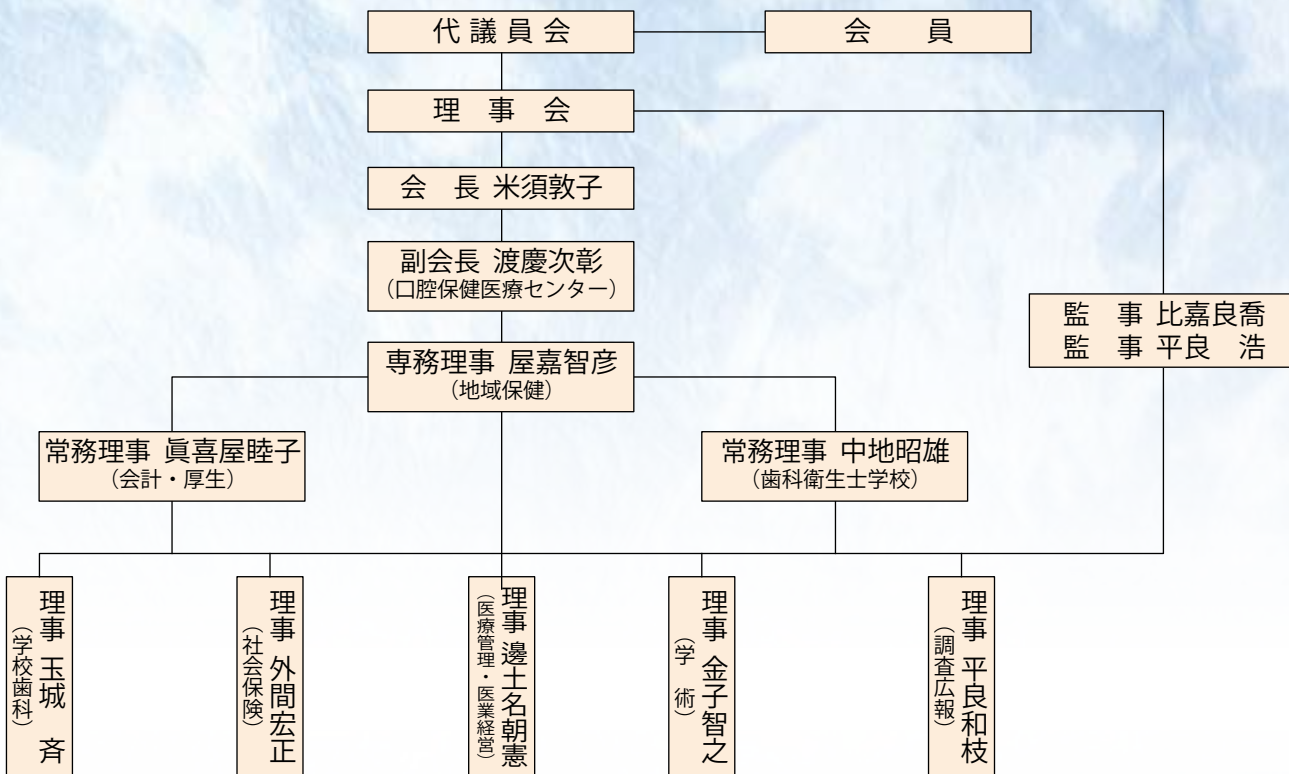
# content

|                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| ■ 歯科医師会組織図・役員分布図          | 3                                |
| ■ 委員活動紹介                  | 4                                |
| ● 県歯報告 ●                  |                                  |
| ・ 第1回 臨時代議員会              | 調査広報理事 平 良 和 枝 … 9               |
| ● 県外報告 ●                  |                                  |
| ・ 全国歯科衛生士教育協議会 九州地区会      | 副校長 中 地 昭 雄 … 11                 |
| ・ 令和5年度 第1回九州各県歯科医師会専務理事会 | 専務理事 屋 嘉 智 彦 … 12                |
| ・ 令和5年度 九州各県歯科医師会学術担当者会   | 学術委員会委員長 新 城 美由紀 … 14            |
| ・ 令和5年度九州各県社保担当者会         | 社会保険担当理事 外 間 宏 正 … 16            |
| ・ 令和5年度 九州各県医療管理担当者会      | 医療管理・医業経営担当理事 邊土名 朝 憲 … 17       |
| ・ 令和5年度 九州各県歯科医療安全対策担当者会  | 医療管理・医業経営担当理事 邊土名 朝 憲 … 19       |
| ・ 令和5年度 九州各県歯科医師会地域保健担当者会 | 地域保健委員会委員長 野 原 昭 彦 … 21          |
| 令・和5年度 九州各県歯科医師会広報担当者会議   | 調査広報担当理事 平 良 和 枝 … 25            |
| ● 県内報告 ●                  |                                  |
| ・ 令和5年度医療従事者技術向上支援研修会     | 学術委員 真喜志 早江子 … 27                |
| □ 沖縄歯科衛生士学校Open Campus    | 専任教員 新 垣 花 絵 … 28                |
| □ 体育祭を終えて                 | 2年 島袋 音絵／仲本さくらこ … 30             |
| □ 楽しかった研修旅行               | 沖縄歯科衛生士学校 34期生 … 31              |
| □ 第75回 九州歯科医学大会           |                                  |
| 野球大会in宮崎                  | 沖縄県歯科医師会野球部 佐久本 圭 … 32           |
| ボウリング大会in宮崎               | ボウリング部 部長 中 村 亨 … 34             |
| テニス大会in宮崎                 | テニス部 部長 福 里 剛 … 35               |
| 俳句大会in宮崎                  | 南部地区会員 長 堂 芳 子 … 37              |
| ゴルフ大会in宮崎                 | 南部地区会員 照 屋 均 … 38                |
| 剣道大会in宮崎                  | はごろもファミリー歯科 神 下 太 一 … 39         |
| □ 会員投稿                    |                                  |
| ハーモニカに再会…八十の手習い           | (医) 健生会 上原歯科クリニック(浦添) 上 原 淳 … 41 |
| ここまで来てしまった環境汚染・環境破壊       | (医) 健生会 上原歯科クリニック(浦添) 上 原 淳 … 43 |
| □ 会員プロフィール 牧野秀樹先生・荒川 彩先生  | 53                               |
| □ 新職員紹(金城 優)              | 54                               |
| □ ハラスメント研修会報告             | 専務理事 屋 嘉 智 彦 … 54                |
| □ 理事会報告                   | 55                               |
| □ 編集後記                    | 61                               |
| □ 8020達成者認定証の発行について       | 62                               |
| □ 会員動向                    | 64                               |

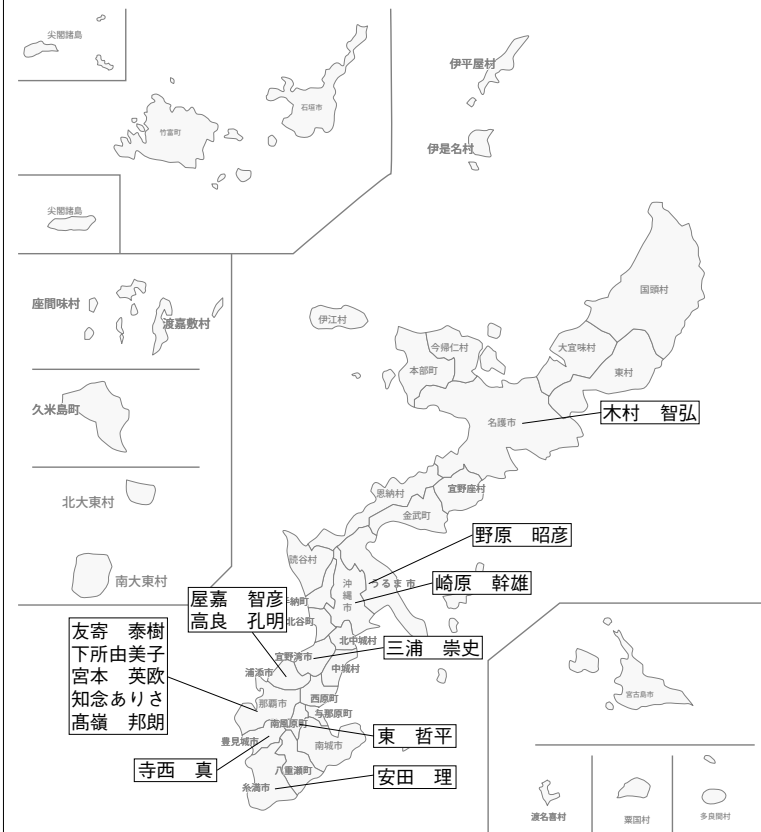
# 「情報をできるだけ早く届け、風通しのよい開かれた歯科医師会を目指す!!」

令和5年度 米須会長の下、その決意を実現するため、できるだけ多くの会員の声を届け、また会の目的に沿った運営を実行する役割を担って働く先生方の役職・名前・地区・活動内容を掲載紹介致します。

沖縄県歯科医師会が県民に寄り添える歯科医療を提供できますよう、エールを送っていただき、さらなる支援・ご協力を宜しくお願い致します。



### ★地域保健委員会★



### ★地域保健委員会

担当理事 屋嘉 智彦  
 委員長 野原 昭彦  
 副委員長 木村 智弘  
 委員 崎原 幹雄/高良 孔明  
 友寄 泰樹/安田 理  
 下所由美子/宮本 英欧  
 知念ありさ/東 哲平  
 寺西 真/三浦 崇史  
 アドバイザー 高嶺 邦朗  
 オブザーバー 牧野 秀樹

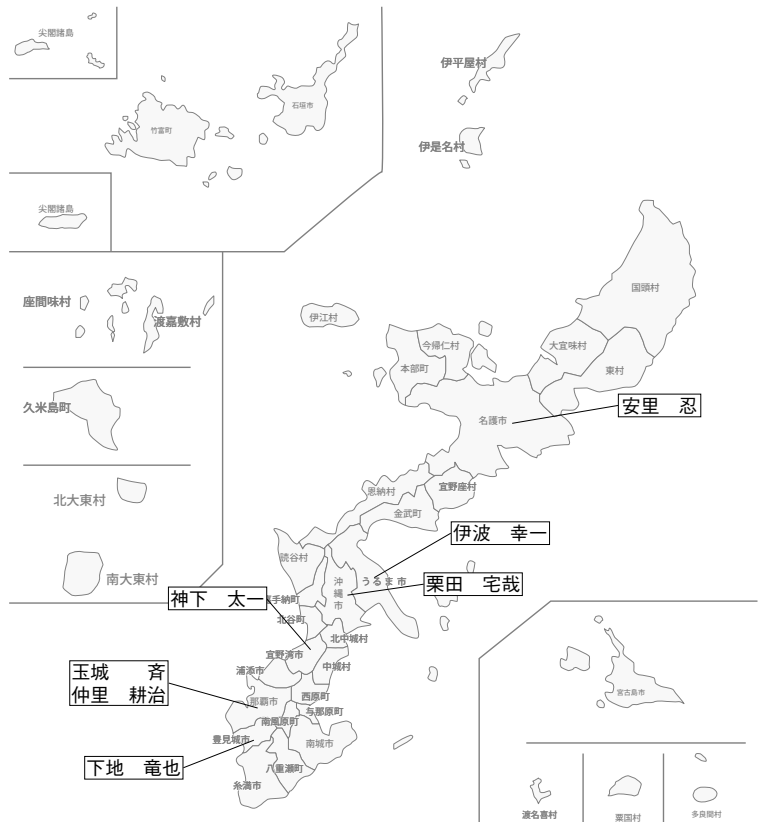
#### 委員会事業計画

1. 介護保健事業  
会員を対象とした事業の策定
2. 地域保健事業  
フッ化物洗口、糖尿病等連携、関連企業との共同事業
3. 健診事業  
事業所・グループホーム・後期高齢者の各健診事業
4. ICTを活用した口腔保健活動
5. 訪問歯科診療支援
6. 訪問歯科診療の感染対策啓発
7. 九州各県地域保健担当者会参加

### ★学校歯科委員会

担当理事 玉城 斉  
 委員長 伊波 幸一  
 副委員長 神下 太一  
 副委員長 仲里 耕治  
 委員 安里 忍/栗田 宅哉  
 下地 竜也

### ★学校歯科委員会★



#### 委員会事業計画

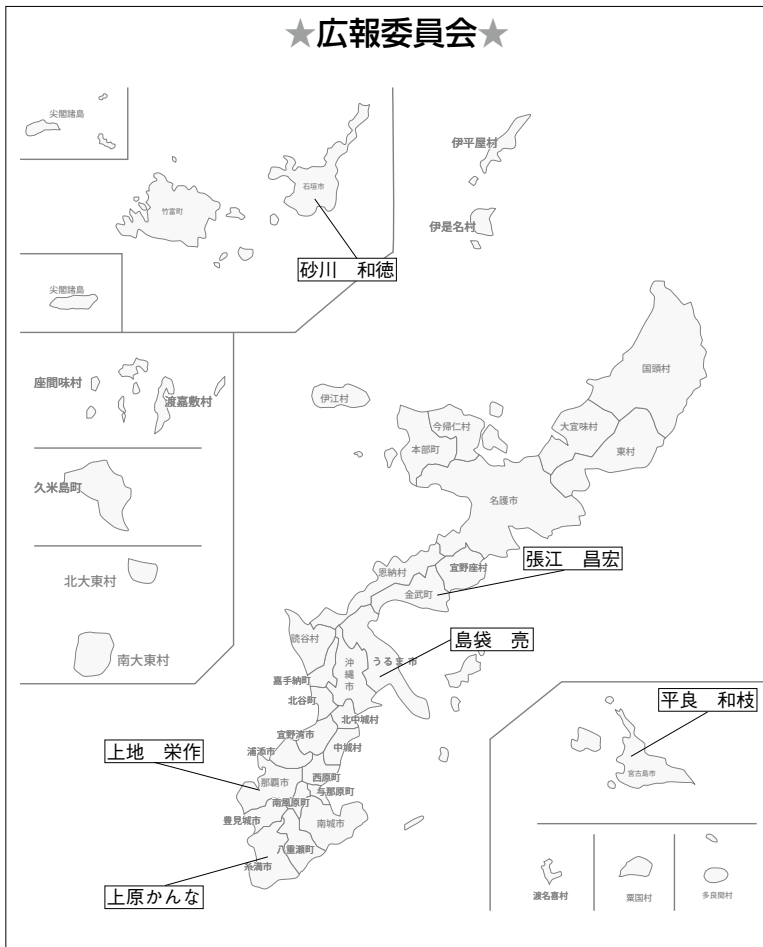
1. 県教育委員会、九州地区学校歯科組織、日本学校歯科医会との連携強化
2. 全国大会への参加
3. 九州地区学校歯科医会役員連絡協議会参加
4. 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールの開催 (小・中・高・特)
5. 離島の図画ポスター表彰者への支援
6. 全国小学校歯みがき大会への参加校推進
7. 学校歯科保健研修会の開催

★広報委員会★

★広報委員会

担当理事 平良 和枝

委員 上原かなな／島袋 亮  
砂川 和徳／上地 栄作  
張江 昌宏



委員会事業計画

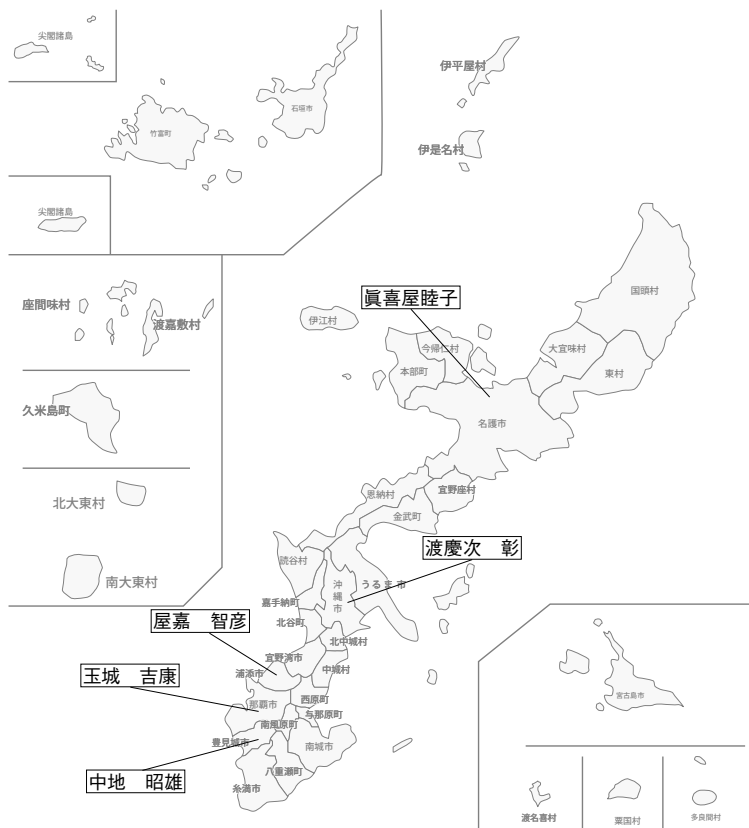
1. 会誌の発行
2. ホームページの運営と内容の充実
  - ① 県民向け
  - ② 会員専用ページの充実
3. 対外PR活動（新聞、ラジオ、テレビ等）  
ラジオ番組の活用 ラジオ、テレビ、新聞への情報提供および取材依頼の強化
4. 報道各社との連絡協議会の開催と懇談会
5. サテライトシステムの活用
6. 歯がんじゅう月間の事業企画

★財務厚生委員会

担当理事 眞喜屋睦子

委員 玉城 吉康／渡慶次 彰  
屋嘉 智彦／中地 昭雄

★財務厚生委員会★



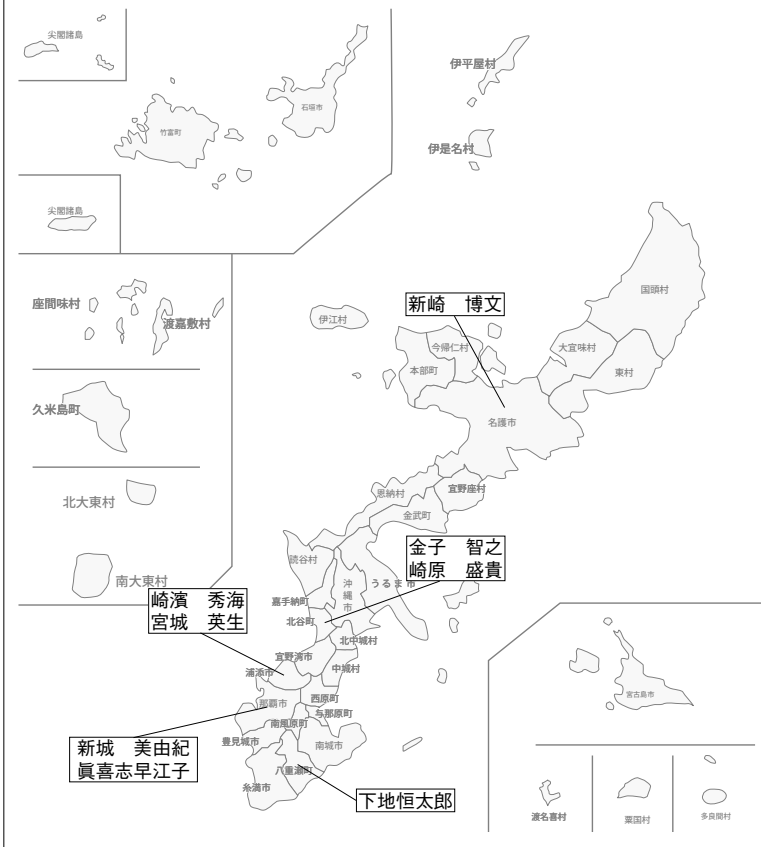
委員会事業計画

1. 各会計の予算・実績の管理
2. 財産管理の強化
3. 会計処理電算化システムの効率的活用
4. 会員の健康増進
5. 各種厚生行事の開催

★学術委員会★

★学術委員会

担当理事 金子 智之  
 委員長 新城美由紀  
 副委員長 崎濱 秀海  
 委員 新崎 博文／眞喜志早江子  
 崎原 盛貴／宮城 英生  
 下地恒太郎



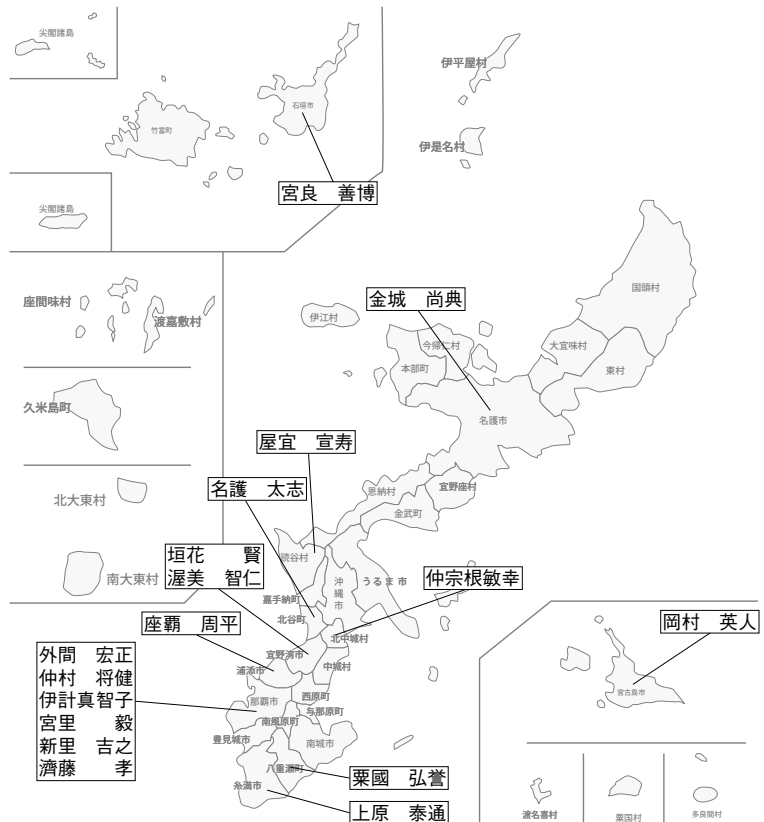
委員会事業計画

1. 公衆衛生事業の実施
2. 沖縄県歯科医学会の開催
3. 学術講演会の開催
4. スポーツ歯科関係事業の実施
5. 歯科医療従事者技術向上研修会の開催
6. 歯科衛生士復職支援事業の実施
7. 九州各県学術担当者会の開催

★保険委員会

担当理事 外間 宏正  
 委員長 上原 泰通  
 委員長 垣花 賢  
 委員 仲村 将健／栗國 弘誉  
 屋宜 宣寿／伊計真智子  
 座覇 周平／宮里 毅  
 新里 吉之／金城 尚典  
 名護 太志／渥美 智仁  
 岡村 英人／宮良 善博  
 アドバイザー 濟藤 孝／仲宗根敏幸

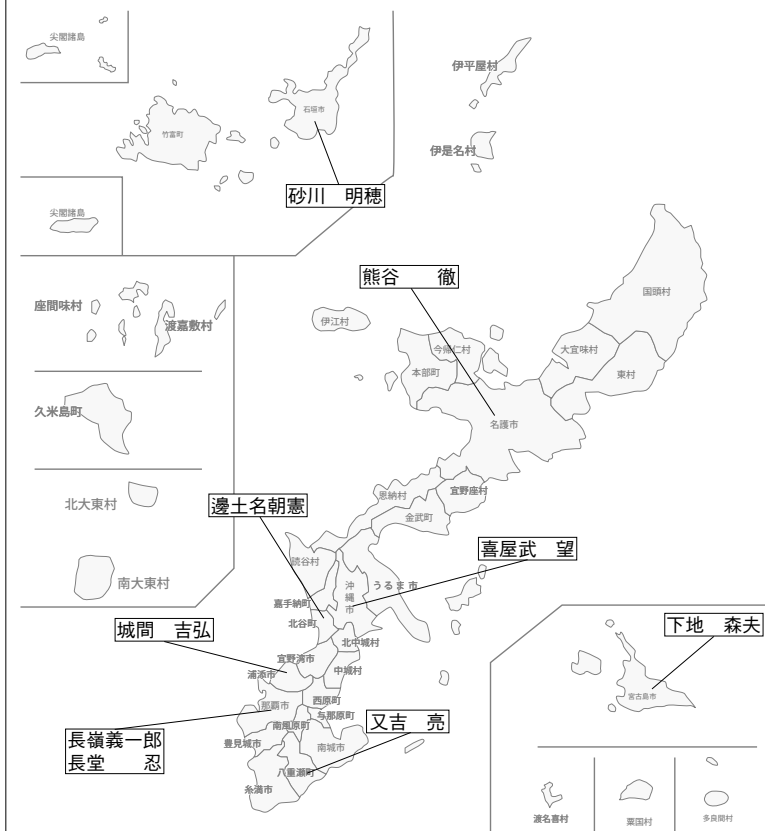
★保険委員会★



委員会事業計画

1. 医療保険に関する研修の推進
2. 医療保険制度、保険診療に関する講習会
3. 行政指導への対応強化
4. 関係官庁・団体及び両審査会との連携強化  
 (九州厚生局沖縄事務所、県国民健康保険課、県歯科医師会の歯科連絡会議等)
5. 日歯・九州各県社保委員会との連携強化
6. 会員指導の充実・強化
7. 各地区における社保研修会
8. 保険だよりの発刊 (カノーブス)

★医療管理委員会★



★医療管理委員会

担当理事 邊土名朝憲  
 委員長 長嶺義一郎  
 委員 熊谷 徹／喜屋武 望  
 長堂 忍／下地 森夫  
 砂川 明徳  
 アドバイザー 城間 吉弘／又吉 亮

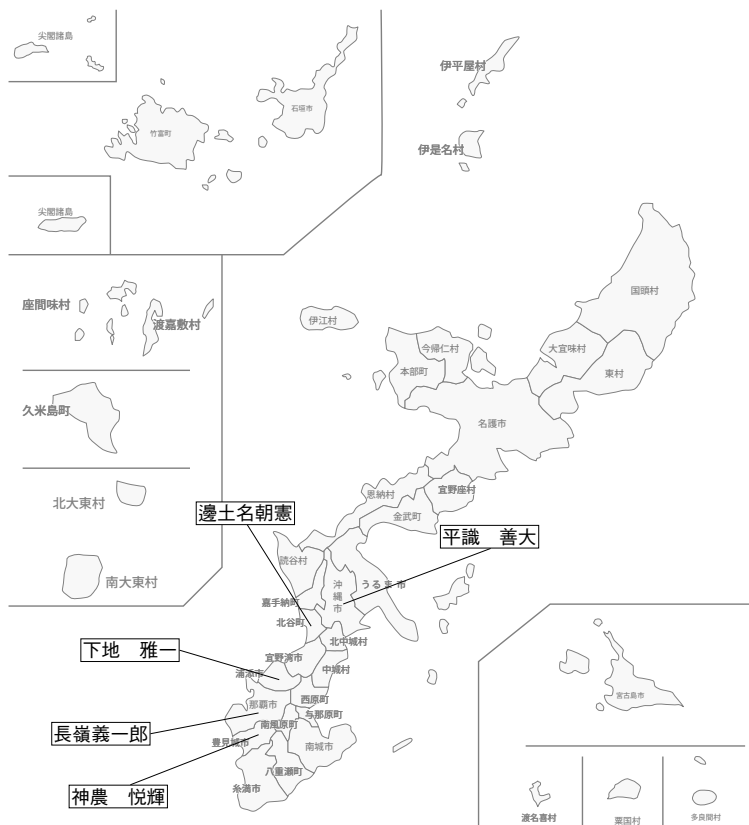
委員会事業計画

1. 歯科医療安全対策の強化
  - ① 医療事故、苦情への対応と処理及び会員への情報提供および 歯科医学会での事例報告
  - ② 医療安全指針の推進
  - ③ 感染症対策の推進
2. 医療等を含めた相談窓口の設置、運営
  - ① 労務管理等の相談
3. 医療廃棄物の適正処理の推進
4. 対外事業（総合訓練等）への参加協力
5. 医療安全対策講習会
6. 災害支援活動推進に係る事業
7. 歯科衛生士復職支援事業
8. 九州各県医療管理担当者会議参加
9. 九州各県歯科医療安全対策担当者会議参加

★医業経営委員会

担当理事 邊土名朝憲  
 委員長 長嶺義一郎  
 委員 下地 雅一／平識 善大  
 神農 悦輝

★医業経営委員会★

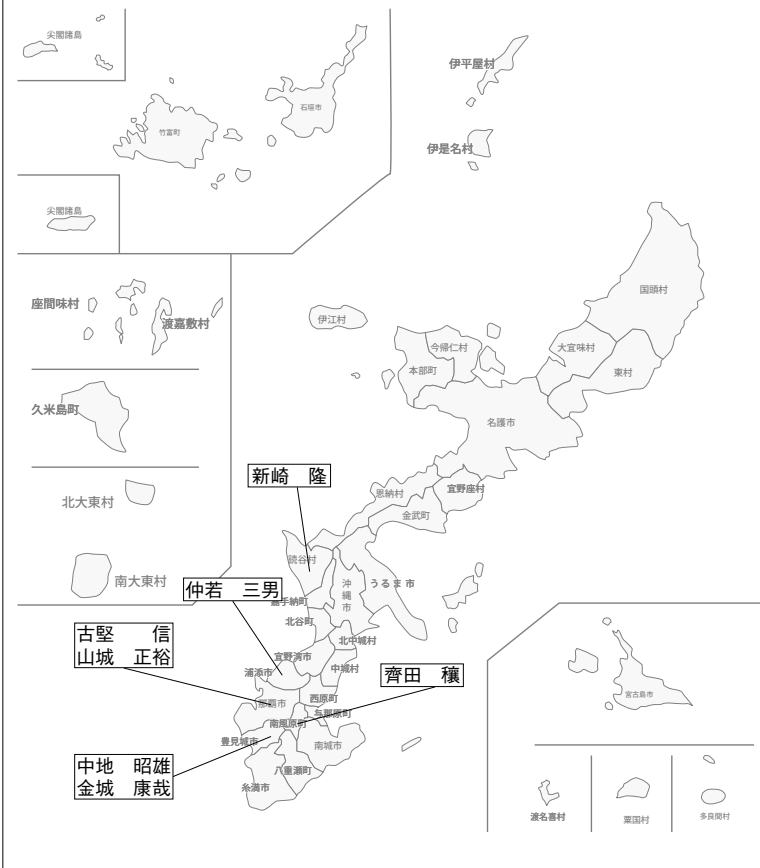


委員会事業計画

1. 医業経営セミナーの開催
2. 医業経営の活性化のための相談窓口の設置、運営
3. 医院承継システムの実施
4. 歯科助手資格認定講習会の開催



★沖繩歯科衛生士学校運営委員会★



★沖繩歯科衛生士学校運営委員会

担当理事 中地 昭雄  
 委員長 齊田 穰  
 副委員長 金城 康哉  
 委員 古堅 信/新崎 隆  
 山城 正裕/仲若 三男

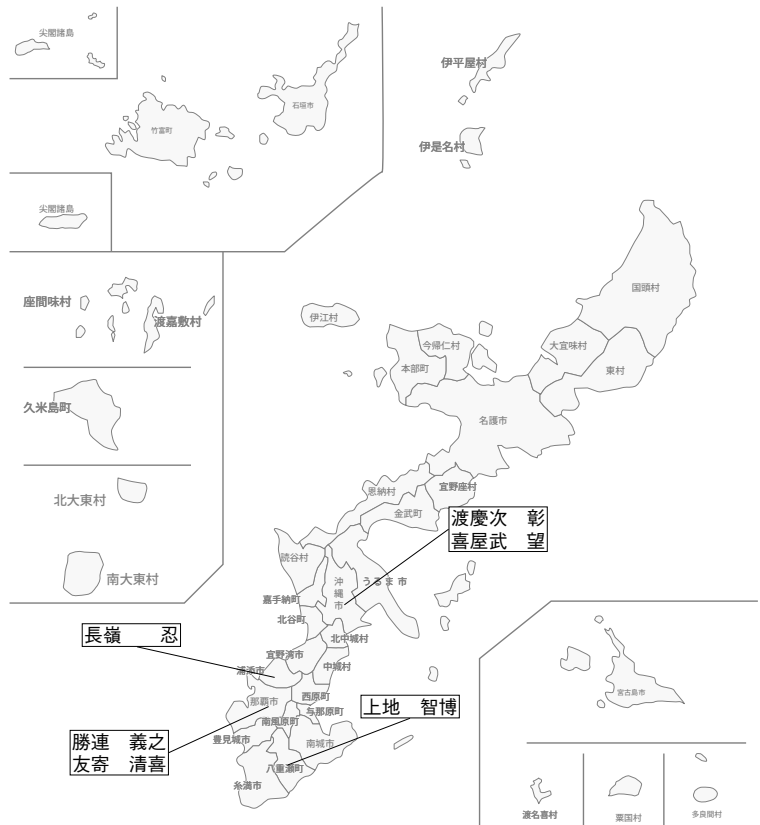
委員会事業計画

1. 学生募集の強化  
 高等学校訪問、進学相談会参加、総合型選抜
2. 広報活動の充実  
 ホームページの充実、SNSの活用  
 (修学支援制度、教育訓練給付金制度等の周知)  
 歯科医師会会誌への掲載
3. 教育の充実  
 臨地・臨床実習の充実  
 国家試験対策の強化  
 教職員の研修参加
4. 教育施設の充実
5. 学校運営の充実

★口腔保健医療センター運営委員会

担当理事 渡慶次 彰  
 委員長 勝連 義之  
 副委員長 喜屋武 望  
 委員 上地 智博/長嶺 忍  
 友寄 清喜

★口腔保健医療センター運営委員会★



委員会事業計画

1. 障害者歯科医療の充実
  - a. 専任歯科医師・協力医による診療及びセンター運営の充実
  - b. 専任・センター協力医に対する研修
  - c. 摂食機能療法への取組み
  - d. 全身麻酔下歯科治療の充実
  - e. 研修会および健診・保健指導の充実
  - f. 心身障害児(者) 歯科診療拡充事業
  - g. 二次医療機関としての医療的ケア児および通院困難な障害児(者)への訪問歯科診療に向けた取組み
2. 障害者歯科医療の研修機関としての充実
  - a. 障害者歯科地域協力医育成の継続
  - b. 日本障害者歯科学会認定医・認定歯科衛生士取得のための取組み
3. 地域や各障害者関連団体とのネットワークづくり
  - a. 沖縄県歯科 SUN 会議の充実
  - b. 障害者歯科普及啓発を目的とした研修会等の開催
  - c. 障害者歯科アクティブネットワーク九州参加
4. 『ねんぼう』の発刊
5. 九州各県地域保健担当者会議参加

• 県歯報告 •

## 第1回 臨時代議員会

日時：令和5年9月10日（日）午前10時45分～  
場所：沖縄県口腔保健医療センター 2階大研修室

調査広報理事 平 良 和 枝



### 令和5年度（第1回）臨時代議員会日程

日 時：令和5年9月10日（日）午前10時45分  
場 所：沖縄県口腔保健医療センター大研修室

人員点呼

事務局長

1. 開会の辞 副会長 渡慶次 彰

2. 物故会員に対する黙祷

3. 仮議長選出

4. 議事録署名人指名

5. 会長挨拶 会 長 米須 敦子

6. 新役員人事及び職務分掌紹介

7. 職員表彰

8. 報告事項

(1) 会務報告 専務理事 屋嘉 智彦

(2) 各種委員会委員について //

(3) 会計現況報告 会計担当理事 眞喜屋睦子

9. 決議事項

第1号議案 沖縄県歯科医師会代議員会議長及び副議長選出に関する件

第2号議案 沖縄県歯科医師会顧問の選出に関する件

10. 協議事項

11. 閉会の辞 副会長 渡慶次 彰

令和5年9月10日（日）午前10時45分～第1回臨時代議員会が行なわれました。



今会議では、代議員・役員交代も在り、事務局長より氏名点呼が行なわれ、代議員の総数45名に対し出席者42名、これにより定款22条に規定する定足数を満たし成立する事が報告され、渡慶次彰副会長により開会の辞が述べられました。

代議員会議長赤池一史・副議長仲程泰之介が選出、続いて議事録署名人に仲村将健・国吉綾子代議



員が指名されました。

米須敦子会長挨拶では 冒頭で「今回45人中16人の新しい代議員、また執行部も8人の役員が代わる中で第1回臨時代議員会開催にあたっての身の引き締まる思いでの参加」の感想のあと、「色々なものを風通しのよい形にしていきたい」また「地区代表として日歯の理事になり、情報をできるだけ早く皆さんに伝わるようにしたい」と抱負を述べ、結びに、「開けた歯科医師会になる事を祈念して」と挨拶されました。



続いて、新役員人事及び自己紹介・職員表彰のあと、次第に沿って会務・各種委員会委員・会計現況について報告がなされました。

今回報告事項の中での各種委員会報告の中、センター運営委員会からの事前質問もありコロナあけのリアル開催ならではの活発な意見交換がなされました。

議事事項では第1号・第2号議案とも満場一で承認され、副会長により閉会の辞にて1時間30分の第1回臨時代議員会が閉会しました。





● 県外報告 ●

## 全国歯科衛生士教育協議会 九州地区会

日時：令和5年9月9日（土）午後1時30分～午後5時15分  
場所：アートホテル宮崎スカイタワー

副校長 中地 昭 雄

全国の衛生士学校の教育に関する協議会の九州支部会が宮崎県にて行われた。

内容に関して以下に記す

### \*報 告

- (1) 全国歯科衛生士教育協議会報告並びに文部科学省委託事業報告

全国歯科衛生士教育協議会

理 事 山本 順一

- (2) 令和4年度全国歯科衛生士教育協議会九州地区会収支決算報告

- (3) その他

### \*講 演

演題「歯科衛生士教育の現状調査結果とフッ化物応用に関する最近の話題」

全国歯科衛生士教育協議会

理事長 眞木 吉信

### \*分科会

○学校運営教育担当者会（3F日向）

- ・分科会において、本件からの提出議題は「各学校の専任教員並びに事務員数」「口腔内写真撮影実習について」を提出した。当校よりも少ない職員で運営している学校も見受けられたが、職員不足に悩んでいるようである。

○専任教員担当者会（3F浜木綿）（下記協議題につきグループでの意見交換）

- ・「歯科診療所臨床実習の評価方法（成績）について」

臨床実習開始前に全実習施設参加必須で臨床実習担当者会を開催し説明を行うことが重要。

また、評価方法を例えば実習施設（8割）、学校（2割）の両方で評価することによりバラツキの減少に繋がると考える。

### \*全体会

- (1) 分科会報告

- (2) 次期九州地区会の開催について

鹿児島歯科学院専門学校

校 長 登 正太郎

- (3) 閉 会

宮崎県歯科医師会 副会長 黒木 晃一

### \*まとめ

全体としては、文科省委託事業で福岡県内の各衛生士学校と福岡県内の高校が協力して1年生の口腔健康教育、2～3年生でキャリア教育を行っている報告が大変興味深く、今後の実績に注視したい。また、長崎歯科衛生士専門学校のオープンキャンパスが、小学生の自由研究として20組40名で行った取り組みが興味深かった。



• 県外報告 •

## 令和5年度 第1回九州各県歯科医師会専務理事会

日時：令和5年9月16日（土）午後2時～午後5時15分

場所：福岡県歯科医師会館 応接室

専務理事 屋嘉智彦

### 次 第

#### 1. 開 会

#### 2. 挨拶

#### 3. 出席者紹介

川端貴美子（九地連 専務理事・  
福岡県歯科医師会 専務理事）

今村 均（九地連 常務理事）

木村 哲也（大分県歯科医師会 専務理事）

江口 隆郎（佐賀県歯科医師会 専務理事）

田中 靖彦（長崎県歯科医師会 専務理事）

牛島 隆（熊本県歯科医師会 専務理事）

栄 千登美（鹿児島県歯科医師会 専務理事）

安楽 亮二（宮崎県歯科医師会 常務理事）

屋嘉 智彦（沖縄県歯科医師会 専務理事）

#### 4. 座長選出

#### 5. 報 告

(1) 会務報告

(2) その他

#### 6. 協 議

(1) 令和5年度各県事業計画及び予算について

(2) 令和6年度以降の九地連公募研究事業の見直しについて

大学からの申請内容と歯科医師会の希望との相違  
→各県の歯科医学会の補助という形に変えても良いのでは

→令和6年度は公募研究事業を一旦停止するというのは

次回専務会にて最終決定

(3) 九州各県災害対策特別委員会について

九地連災害対策のマニュアルについて

九州管内歯科関係大学との協議会開催について

→福岡県歯と九大・九歯大・福歯大、長崎県歯と長崎大、鹿児島県歯と鹿児島大が協定を締結、  
今後は九地連と上記5大学との協定を結ぶ段階へ。

(4) 各県提出議題について

(5) その他

#### 7. 閉 会

牛島専務より：地域保健・産業保健・介護保険関係アンケートについて

日歯の方針で今年度より実施方法が変更

→各都道府県と各郡市区それぞれに調査を実施

変更理由：都道府県版は全体の「把握」、郡市区版は各行政単位で調査することにより状況を「具体的」に調査したい

※沖縄県については既に各地区に連絡済み

各県提出議題（補足）

1. JDATのチーム編成について

今年度県の委託事業として、5医療圏における災害対応体制のための人材育成事業を、8020の予算で計画（佐賀県）。

2. 九地連におけるウェブ会議の活用について

担当者会2回のうち1回は担当県の判断で。

3. 九州地区連合歯科医師会のあり方について

次の任期に向けて、牛島専務にアンケート（案）を作成してもらうことに。

4. 会員の予期せぬ傷病により診療ができなくなった場合の対応について

早期対応は難しく、5日後くらいより機能し始める（佐賀県）。

郡市区レベルで自発的に動いている（福岡県）。

5. 日歯生涯セミナーに関する九州の担当県について

日歯の常務始めメンバーが入れ替わったため、全て配信という方向性が変わる可能性あり（経過観察）。

6. 歯科学院の学生募集と歯科補助者教育補助金の増額について

定員40名で3割減（鹿児島）。

専任教員数は最低数の4名を割り込んでおり募集しているが応募がない（佐賀県）。

→卒後4年間会員の診療所に勤務した衛生士を専任教師に採用するという流れができています（福岡県）。

会の奨学金制度を行なっている県はあるか？

→学費の増額と奨学金制度（会員の診療所に就職したものに限り返済免除）を説明。

7. 歯科医師会から発信する情報のデジタル化について

福岡市歯科医師会は10年ほど前に1,000人にPCを2回無料配布／how to動画を発信。物配るより動画発信の方が促進効果あるとの結論。

8地区中1地区（会員45名ほど）でメールアドレス取得100%（佐賀県）。

8. か強診・歯援診の取り組みについて（本県提案）

訪問診療への取り組みについては特別な対策はまだとっていない（宮崎県）。

その他

ペーパーレス化について

→各担当学会にてデータ化の課題点等について協議してほしいとのこと

開催県で取りまとめたものを1月の専務会でまとめ、2月の会長会で決定





• 県外報告 •

## 令和5年度 九州各県歯科医師会学術担当者会

日時：令和5年10月7日（土）午後2時～午後5時30分

場所：沖縄県口腔保健医療センター 大研修室

学術委員会委員長 新城 美由紀

令和5年の九州学術担当者会が開催されました。今年度は沖縄が担当県で、更に4年ぶりの対面形式の会議ということで、準備の段階から手間取ることが多く、事務局のほうにも、多大な負担をかけてしまいました。

当日は、宮崎空港で使用飛行機の不具合が見つかり、宮崎県の担当者は来県できないかもしれないという直前のハプニングがありましたが、何とか開始時刻には全員揃い、予定通り開催することができました。

### 〈 次 第 〉

#### 1. 開会の辞

沖縄県歯科医師会 理事 金子 智之

#### 2. 挨拶

沖縄県歯科医師会 会長 米須 敦子

日本歯科医師会 常務理事 末瀬 一彦

#### 3. 出席者紹介

#### 4. 座長・副座長選出

#### 5. 日本歯科医師会報告

日本歯科医師会 常務理事 末瀬 一彦

#### 6. 協議事項

- (1) 令和5年度九州各県学術関係事業計画及び予算について
- (2) 各県提出協議題について
- (3) 日本歯科医師会への要望及び質問について
- (4) その他

#### 7. 次期開催県挨拶

福岡県歯科医師会 理事 田中 秀明

#### 8. 閉 会

次第6協議事項（2）各県提出協議題は以下の通りです。

1. 各県のスポーツデンティストの役割、活動について（佐賀県）
2. 各県の現在の日歯e-systemの利用状況および活用方法について（佐賀県）



3. 会員情報共有に関するICT利用について(長崎県)
4. インターネット利用が難しい会員に対する配慮について(長崎県)
5. アフターコロナにおけるネット活用について(大分県)
6. 日歯生涯研修の参加率の向上および終了、認定者の増加に対する取り組みを教ええいただきたい(熊本県)
7. 九州ブロック内での学術講演会の相互配信について(鹿児島県)
8. 医科及び多職種と連携する研修会・講演会について(宮崎県)
9. 2027年国体(国スポ)開催を控え、スポーツ歯科関連での準備について(宮崎県)
10. 日歯生涯研修制度の積極的な利用がなかなか会員に浸透しないのですが、e-システム利用率増加、生涯研修セミナーの参加者増加に対する各県の取り組みをご教示ください。(沖縄県)

コロナ禍の中で普及したオンラインの活用やe-systemを利用した日歯生涯研修について、各県から様々な意見や議論が交わされました。久しぶりの対面形式でしたので、時間超過していましたが、活発な意見交換ができました。

また、協議事項の(4)その他では、「九州各県担当者会のペーパーレス化について」急きょ協議することになりました。

- ①当日の日程資料、参考資料等の全てのデータ提供が各県で可能か。(※データはPDFによる取り纏めをイメージしております)
  - ②出席者全員が各自でノートパソコンやタブレットの持参が可能か。
  - ③必要な場合のインターネットへの接続環境について
- などについて、挙手方式で確認をしていきました。九州全県において、①、②、③ともに可能ということでした。来年の福岡県での開催は、早速ペーパーレス化になる予定です。
- 福岡県での再会を楽しみにしています。







・ 県外報告 ・

## 令和5年度九州各県社保担当者会

日時：令和5年10月14日（土）午後2時～午後6時

場所：長崎県歯科医師会館2階 大会議室

社会保険担当理事 外間 宏正

開会の挨拶を長崎県歯科医師会会長 渋谷先生、  
日本歯科医師会常務理事 大杉先生が行う。

司会は長崎県歯科医師会 社会保険委員会副委員長 松永常典先生が行う。

出席者紹介の後、座長副座長選出。

座長は現担当県の長崎、副座長は次期担当県の大分の先生がこれにあたる。

本題の日歯報告を日歯常務理事大杉先生が行う。

- ・ 次期医療保健制度改革の主な検討事項
- ・ 第4期医療費適正化計画に向けた見直し（2024～2029年度）
- ・ 歯科用麻酔薬剤の薬価乖離率是正に関する要望
- ・ 次期診療報酬改定について
- ・ 令和5年度6月16日閣議決定により歯科医師会の改訂基本方針について
- ・ 金パラ問題について
- ・ 新型コロナウイルス関係
- ・ 指導・監査関係について
- ・ 審査支払関係
- ・ 医療DX、オンライン資格確認関連事項

### 協議事項

- ① 令和5年度各県社保関係事業計画及び予算
- ② 各県提出協議題について
- ③ 日歯への要望及び質問について
- ④ その他

今回、初めての参加の担当者会議でした。かなりの緊張感で臨みましたが参加経験のある垣花賢先生に同行していただき、会議開催後は緊張もほぐれ無事に閉会までの時間を過ごすことができました。

コロナ禍あとの4年ぶりの対面での会議でしたが全体的にスムーズに進められたかと思います。

他の県の担当の先生方から「沖縄県は全体的に査定が厳しいような感じがします」との意見が聞かれました。

以上、正直な感想と致しまして、各県理事に社保など査定に差があるように感じました。



・ 県外報告 ・

## 令和5年度 九州各県医療管理担当者会

日時：令和5年10月14日（土）午後2時～午後5時15分  
場所：福岡県歯科医師会館

医療管理・医業経営担当理事 邊土名 朝 憲



開 会 福岡県歯科医師会理事 本城 孝浩  
挨拶 福岡県歯科医師会副会長 松中 祐二  
日本歯科医師会常務理事 寺島多実子

### 協 議

(1) 令和5年度九州各県医療管理関係事業計画並びに予算について

沖縄県は離島の宮古、石垣の委員はWEB参加で4か月に1回対面での参加で予算計上

(2) 各県提出協議題について

### 1. 医院運営関係

医院継承について各県ともに会員の高齢化による問題としていました。開業予定の会員と閉院予定の会員とのマッチング。医院継承、M&A業者の講演、歯科材料店を介して売買、賃貸のマッチング。売買、賃貸など継承に関しては保険点数、患者数、等々プライベートな問題もあり公に出来ない点もあり、日本歯科医師会としても緊急課題として問題提起していくとの事です。

### 2. 労務関係

パワハラ防止法も設置されましたが、各県ともに会員への周知徹底に苦慮している現状です。就業規則作成の徹底、パワハラ、残業代未払い等々労働基準局からの通達前に会員に法令遵守を促すよう通知する。沖縄県でもスタッフからの相談件数も増加傾向にあるためまずは就業規則作成の徹底が必要。

### 3. コロナ感染症、インフルエンザ感染症罹患時の療養期間及び給与について。

各県ともに法律に基づいて対応しているとの事。院長が感染し休業した場合の給与については各医院の対応ですが有給10日のうち5日は医院側で指定出来るのでそれを活用しているようです。

### 4. 歯科衛生士事業関係

各県ともに歯科衛生士確保に苦慮している現状で高校生への体験入学、TVで紹介インスタや動



画配信で衛生士紹介等行っているようです。ユニークなものはキッサニアの業者のイベントで歯科衛生士のブースを設置して子供たちに体験してもらおう県もありました。

歯科衛生士の復職支援については歯科衛生士バンクをlineで設置して情報発信を行うと共に復職支援として実習セミナー等を行っている。

## 5. その他

HIV患者の歯科治療の方針、現状について

各県苦慮しており、病院口腔外科に依頼している現状が見受けられました。この点に関して沖縄県が病院、歯科医師会との協議会で患者紹介システムで最も機能していると感じ、このシステムを各県に報告しました。

マイナンバーカード資格確認のトラブルについて

行政側の誤登録、機器の不具合で資格認証できず難渋したケースの報告がありました。沖縄県では保険証受診が多いもののマイナンバー受診が増えると思います。その際には国、厚労省からの伝達文書の通達。支払基金からのオンライン資格確認で無効となり返戻ケースもあり検討課題です。

その他にカード決算の手数料、マイナンバーカードに伴う機器の保守、買い替えの費用等も問題になりました。

### (3) 日本歯科医師会への要望及び質問

#### 1. 医院運営関係

安全管理指針を策定する際の雛型等について

医療法施行規則の一部を改正する省令の施行が行われていますが安全管理（診療用放射線に係る安全管理、電離放射線健康診断結果報告書）作成の雛形及び報告について

日歯回答は電離放射線健康診断結果報告書提出義務なし。安全管理指針策定については検討中

#### 2. 税務関係

電子帳簿保存法の今後について

日歯回答は電子帳簿保存法に関連してソフトも含めて検討中

#### 3. 歯科用金属買取について

民間中古買取販売グループ会社による歯科用金属（撤去冠、未装着補綴物等）の買いとりが行われていますが日歯の見解は

日歯回答 患者口腔内の補綴物の所有権は患者にあるので、必ず確認を取る必要があるとの見解

#### 4. オンライン資格確認機器の保守及び買い替えの時の費用について

今回設備導入は補助金で行われたが今後上の状況の場合費用は自院で行うのか

日歯回答持ち帰り検討

#### 5. マイナンバー制度普及に対する日歯の対応

日歯回答としては国の方針に準ずる方向で機器トラブルについては厚労省ホームページ参考

今回、対面での担当者会出席は初めてで、非常に多岐に渡り協議題一題一題の内容も深く、ほぼ休憩時間なしでの会議でした。紙面上での協議に加えて、その後の懇親会では更に深く多くの情報を得ることができました。

今回の会議を通して得た情報を会員に情報提供していきたいと痛感いたしました。





• 県外報告 •

## 令和5年度九州各県歯科医療安全対策担当者会

日時：令和5年10月28日（土）午後2時30分～午後5時30分  
場所：熊本県歯科医師会館

医療管理・医業経営担当理事 邊土名 朝 憲

### 1. 開会挨拶

熊本県歯科医師会 会長 伊藤 明彦  
日本歯科医師会 常務理事 寺島多実子

### 2. 各県提出協議題について

#### (1) 医療安全対策関連情報の会員への情報発信について

各県ともに年に数回の講習会開催、会報誌に医療相談苦情、医療事故、医事紛争の情報発信を行っているが、個人情報等の制限で文書にて医療事故トラブル等の会員への注意喚起は難しいとの意見が多かった。

#### (2) ヒヤリハット事例の対応について

日歯も報告を上げるように勧めているが現状は各県ともに情報収集を行っている現状。医師会、薬剤師会ではかなりの報告が上がってきているので歯科部門でも報告を上げるように会員通知を進めるとの事。

#### (3) 医療相談、苦情の非会員の取り扱い、また患者からのトラブル受ける基準

各県共に非会員は対応せず、電話対応に際しても匿名は受け付けない場合が多い。各県共に支部の担当委員が輪番で対応しているが（相談苦情で2時間以上に及ぶこともあるので輪番にしている）、沖縄県は2人の委員のみで対応。他県に比べても人数少なく委員の負担になっている。日歯も会員との差別化で会員のみでの対応でよいのではとの見解。

#### (4) 高次医療機関と歯科医師会との定期的な協議会の開催について

大学病院等の高次医療機関へ紹介した際、医局員が前医の治療について否定的な発言することで会員歯科医院と患者とのトラブルに発展することがある。

高次医療機関と歯科医師会との定期的な協議会開催は半数県開催。沖縄県歯科医師会は今季

から委員に病院歯科の先生をアドバイザーとして入れてまた、大学側には直接教授に連絡できるホットラインで対応している。

#### (5) 撤去冠取り扱いについて（沖縄県）

金属高価買取の広告で患者から撤去冠返還要求が増えているが、撤去時に確認とるように会員通知しているが各県の対応は如何か。また後日の撤去冠の返還請求の対応は。書面にて記録の明確化し後日返還要求には応じない等々が多い。

日歯も撤去冠は患者自身のものであるため返還要求には応じる必要あり。後日請求は医療感染物として返還不可の見解。（民646条、患者から分離した歯、撤去冠は返還しなくてはならない。但し慣習により廃棄すべきものは渡さなくてもよいし患者から同意得たものは歯科医師が処分してよい）

#### (6) 医療過誤、医療事故の裁判事例

口腔がんの発見遅れ、義歯の不備、根管治療、インプラントの不備、抜歯適応外の抜歯、インプラントによる上顎洞炎、抜歯中のバーの破折、咬合違和感？による体調不良、補綴物誤嚥、バーの誤嚥によるトラブル、治療中の舌神経損傷、矯正便宜抜歯トラブル、スタッフの給与、時間外、保険料等労働関係の医事紛争等々



治療に関することから、スタッフ労働関係まで多岐にわたって紛争報告が上がってきているので、注意が必要。

### (7) 日歯への要望

コロナ感染症5類移行後の感染対策および過去のコロナ感染症の総括（歯科ではクラスター起きてない？また起きてないならその根拠、歯科は感染起こしてない事を国民に告知すべきではないか。当初は歯科で感染するとの風評被害を受けた会員歯科医院多くいると考えられる）沖縄県提出

### 3. 講演 スタッフが働きやすい環境を整えるための労働管理について

講師 ユース社会保険労務士法人 代表社員 田畑和佳子氏

昨今の若者は（労基は最低限守るべき法律。守れない企業は倒産しても良い）と考える人が多く、何か会社に不満があると労働基準監督署に連絡する傾向にある。

#### (1) 長時間労働、時間外労働、休日労働に関して

1日、1か月、1年の時間数が36協定で定めた時間を超えてないか。

時間外の計算は1分単位で行われているか。院長の都合(学会、講習会で休み)や休日勤務の場合の取り決めを就業規則に書いてあるか。

#### (2) 賃金の支払いに関して

給料の支払い遅れていないか？遅れると労基

に通知する傾向にある。常勤者を時給計算すると最低賃金下回った事例あり。

#### (3) 年次有給休暇

年5日の年次有給休暇、勤務年数に準じて年10日以上有給休暇を取得させていますか。有給休暇取得者に不利益な取り扱いを行っていないか。

#### (4) 労働時間の適正把握

タイムカードの客観的把握、タイムカードを残業前に打刻等無いか。タイムカードを元にきちんと出勤簿作成がなされているか。

#### (5) パワハラ、セクハラ、カスタマーハラスメント(患者からのハラスメント)の対応。

ドクターの大声がパワハラや、患者のスタッフへのハラスメントに院長の対応不備、スタッフが病んでしまったのは職場によるものと家族が訴える等がある。

今一度、自院の状況振り返り、患者や、スタッフから訴えられる事のないように就業規則、患者対応等の整備が必要と痛感した次第である。

今回、講演を聞いて大変重い話で憂鬱になりましたが、これも今の時代の事として捉え、会員への情報提供を行っていきたいと思います。

追伸、会議の後、熊本県歯科医師会の皆様の素晴らしいおもてなしで憂鬱気分も吹き飛び、また色々な情報交換ができました。ありがとうございました。





• 県外報告 •

## 令和5年度 九州各県歯科医師会地域保健担当者会

日時：令和5年10月28日（土）午後2時～午後5時  
場所：大分県歯科医師会館

地域保健委員会委員長 野原 昭彦

令和5年度九州各県歯科医師会地域保健担当者会は、海と山のコントラストが映える大分県にて、4年ぶりの現地開催となった。

### 【全体会】

司 会：大分県歯科医師会 専務理事 木村 哲也

1. 開 会 大分県歯科医師会  
常務理事 荒金 伸次
2. 挨拶 大分県歯科医師会  
会 長 脇田 晴彦  
歯科界の分野拡大と連携強化について  
日本歯科医師会  
常務理事 山本 秀樹  
口腔保健管理の重要性  
群市区へのアンケート協力依頼
3. 出席者紹介
4. 座長・副座長選出
5. 日歯報告 日本歯科医師会  
常務理事 山本 秀樹
  - ①生涯を通じた歯科健診実現タスクチームの設置  
各種健診の整理と展望
  - ②口腔保健スクリーニング用アプリ「健口チェック」  
・労働者対応  
10・20代、30～50代、60代以上の分類  
年代に応じて重視される5～6設問を設置  
Web版も日歯ホームページから利用可能
  - ③歯周疾患検診票の見直し  
地域分析が可能となる質問や審査項目の標準化  
根面う蝕の項目を新たに追加  
補綴治療の必要性がある欠損部位の有無



- ④健康日本21(第3次)の推進  
予防や口腔機能の獲得・維持・向上等の重要性  
目標・歯周病を有する者の減少  
・よく噛んで食べることができる者の増加  
・歯科健診の受診者の増加
- ⑤歯・口腔の健康づくりプラン  
「ライフステージ」に加えて「ライフコース」アプローチに基づく、健康作りの推進  
項目・健康格差の縮小  
・歯科疾患の予防  
・口腔機能の獲得・維持・向上 更なる定期的な健診と受診困難者への対応  
・社会環境の整備
- ⑥子育て支援のチェックリスト
- ⑦産業歯科保健  
啓発ツール・ハンドブック・eラーニング  
リスクアセスメント対象物健康診断のガイドライン
- ⑧オーラルフレイル関連  
口腔健康管理の定義  
機能管理・衛生管理・口腔ケアのすべてを包括したもの  
歯数・咀嚼・嚥下・乾燥・活舌の5項目のうち2つ以上

## ⑨介護報酬改定

多職種間での情報共有  
生活・療養の場での適切な口腔管理

## ⑩災害歯科保健医療

各地域での研修会開催について  
日歯との連携  
演習素材の提供により同等の位置づけ  
R5の研修会日程

## ⑪全国歯科保健大会

44回は秋田県開催済み45回は、熊本県開催予定  
親と子のよい歯のコンクールは、廃止の方向  
代替表彰は検討中

## ⑫地域保健委員会における協議事項

- ・ 歯周病対策の再考
- ・ 糖尿病連携を実効化するための具体的な方策
- ・ 在宅歯科医療の推進に向けたニーズの顕在化
- ・ 各種ツールを活用した普及啓発
- ・ 令和6年度介護報酬改定の検証

## ⑬令和6年度予算概算要求について

一部拡充  
歯周疾患健診の対象に20歳・30歳を加える  
オンライン資格確認の仕組み

## 6. 協 議

## 1) 日本歯科医師会への質問・要望について

- (1) 特殊歯科健診の健診票について 【佐賀県】  
マニュアル作成し統一化へ向けての検討
- (2) 産業歯科医研修会、産業医学講習会について
  - ① 産業歯科医研修会の通年受講のお願い 【熊本・大分県】
  - ② 産業医学講習会のeラーニング化のお願い 【宮崎県】  
年度ごとの変更に対応するために難しい部分もある。
- (3) 全国都道府県担当理事連絡協議会のWeb開催について 【鹿児島県】  
帰路の時間帯調整による途中退席問題の解決策について
- (4) 周術期等口腔機能管理を通じた医科歯科医療連携推進と歯科疾患管理料算定について 【鹿児島県】

長期に渡る際の加算点数と歯科疾患管理料算との点数バランスの不合理について  
財源との兼ね合いによるハードルの高さ

- (5) 「口の健康と食べるを支える会」への対応について 【鹿児島県】

日歯の協力体制について  
地区による対応の差について

- (6) 全国共通がん医科歯科連携講習会について 【鹿児島県】

eラーニング化に向けて厚労省と調整中  
現時点ではあまり進んでいない

- (7) 訪問診療におけるオンライン資格確認について 【大分県】

マイナンバーカードの対応  
モバイル端末機器等の活用と補助金について厚労省に要請中

その他 検診料地域格差の調整 【鹿児島県】  
介護施設での歯科の待遇改善 衛生士の優遇

## 2) 各県提出協議題

- (1) 物価高騰に伴う健診料の改定について 【佐賀県】  
事業所健診と市町村健診の際の違い  
粘り強い協議が必要  
統一化できてないところが多い  
事務手数料の財源について
- (2) 日本糖尿病協会「登録歯科医」各県の状況 【宮崎県】  
関連する研修会は開催されているが登録料・年会費等の負担もあり各県にても登録者数の伸び悩みがある。
- (3) 県民向けイベントでの啓発について 【宮崎県】  
コロナ前に比べ、より感染予防に配慮した取り組みのためインパクトが弱くなりがち  
フッ素塗布やフッ化物洗口においては歯科医指導のもとならイベントでの実施は問題なしとの見解
- (4) 「歯周病簡易検査キット」情報の取り扱いについて 【鹿児島県】  
国民皆歯科健診を見据えた中で、特定の販

売業者の商品のみが自治体などに紹介されないようにするための配慮

- (5)大規模災害時の歯科保健医療活動について  
【鹿児島県】

マニュアルの作成・改訂  
身元確認作業  
多職種との連携強化

- (6)生活支援プログラムの活用状況について  
あまり普及していない  
実施方法をまとめた動画作成などが必要になってくる  
衛生士がおこなうためのスキルアップが必要

### 3) その他

ペーパーレスの推進について  
各会議において個々のPC機器の持ち込みが可能か？  
会議室のインターネット受信状況の整備について  
第5回九州老年歯科フォーラムin熊本 2/4/2024  
地域包括ケアにおける歯科の役割  
基調講演 米山先生

## 7. 閉 会

大分県歯科医師会 常務理事 久恒 敦司

### 【分科会 I】

司 会： 大分県歯科医師会地域保健委員会  
委員長 甲斐 大嘉

1. 開会の辞 大分県歯科医師会  
常務理事 久恒 敦司  
2. 座長選出 大分県歯科医師会  
地域保健担当理事 伊東 理夫

### 3. 報 告

各県事業計画及び予算について

### 4. 協 議

- (1)各県提出協議議題について

#### 【妊産婦・乳幼児関連】

- 1) 各県における妊産婦への歯科保健活動について  
【長崎県】  
地区による対応のバラツキがある  
積極的な保健活動と計画を望む  
自治体の少子化対策や早産・低体重児出生

対策事業等と絡める

啓発ティッシュペーパー作成

助産師や医師向けの啓発動画の配信の検討

- 2) 乳幼児のむし歯減少に関する取り組みについて  
【熊本県】

効果的な取り組みの確立へ向けて  
全県下での実施にむけたマニュアル作り

- 3) 低ホスファターゼ症（HPP）について

【佐賀・大分県】

歯科健診における対応についてと会員への周知  
健診項目への導入と専門医への紹介・連携強化

#### 【フッ化物洗口関連】

- 4) 小中学校におけるフッ化物洗口の実施状況について  
【鹿児島県】

福岡・政令指定都市の北九州市が全校実施になる予定

これを皮切りに全県下に広めたい。

佐賀・1町を除きほとんどでコロナ後も継続・再開されている。

長崎・現在、公立小中学校共に100%

熊本・熊本市（政令都市）を除きほぼ100%

宮崎・令和4年 小学校 55.4% 中学校 32.8%

大分・県教育庁から市町村単位での実施状況のみ提供、全市町村再開済み

製薬の使用期限切れの注意について

- 5) フッ化物洗口ポーシオンタイプの普及について  
【沖縄県】

費用的な問題

少人数で予算が多ければ可能だがほとんど例がない

蓋を開ける時にこぼしてしまう可能性がある  
ボトルタイプに関しては、いくつかの県にて実施されている

スクールヘルパーを活用するなどして粉末から調合するのが理想的

#### 【児童虐待関連】

- 6) 児童虐待に関する事業の実施状況について  
【宮崎県】



多くの県でマニュアル作成はされている  
どのような周知・展開・連携に繋げていく  
かが課題

【産業歯科関連】

7) 産業歯科について

①産業歯科医の養成または研修について

【佐賀県】

②「産業歯科医」の登録状況や取り組みにつ  
いて

【宮崎県】

③有害な業務に係る歯科特殊健診の状況と料  
金形態

【沖縄県】

④歯科特殊健診をおこなう産業歯科医増員の  
取り組み

【大分県】

出張型・来院型の対応

Eラーニングの活用

8) 事業所健診実績について 【宮崎県】

- ・大規模な集団出張型健診はあまり実績がない
- ・小規模は来院型個別が向いているが契約申し  
込みを会で行うのか？個人で行うのか？統一  
されていない

・行政関係者の健診拡大

・ツールを活用した健診

【国民皆歯科健診関連】

9) 健診における人材問題、研修等について

【鹿児島県】

- ・健診の質の担保
- ・会員の質の維持、会員の減少問題、区分会費  
の配慮
- ・引退、終身会員の雇用
- ・非会員の対応

10) 国民皆歯科健診制度に対し検討している事

- ・介護保険の改定問題
- ・介護度チェックの介入、活用
- ・ITの活用
- ・国が示す方針、今後の展開に期待

(2) その他

日歯アンケートについて 【鹿児島県】

回答期間について

市町の現状確認

これまでの活動のしくみ、二度手間の注意

5. 閉 会

大分県歯科医師会 常務理事 久恒敦司

【分科会Ⅱ】 渡慶次副会長出席

口腔保健センターの運営状況、特に在宅訪問診療  
に関する歯科衛生士のマンパワー活用について

懇親会 ホテル日航大分オアシスタワー3階「紅梅  
の間」

次期開催県 宮崎県

今回の協議会は、沖縄県開催以来4年ぶりの現地  
開催となった。

Webの有効性を感じられたコロナ禍であった  
が、やはり対面会議のほうが要望や意思が伝わりや  
すく感じられ、懐かしい顔ぶれにふれ、たくさんの  
事を得る機会になった。また、他県の若手の先生の  
有能ぶりに圧倒された。

予算の問題もあると思いますが、沖縄の有能な若  
手の先生がもっと他県の先生方と接する機会を増や  
して欲しいと感じました。

PS 写真入りの名刺への移行が進んでいます。

当県も検討よろしくお願ひします。



• 県外報告 •

## 令和5年度 九州各県歯科医師会広報担当者会議

日時：令和5年11月11日（土）午後2時～午後4時  
場所：鹿児島県歯科医師会

調査広報担当理事 平 良 和 枝

### 次 第

司 会：鹿児島県歯科医師会情報・大概PR委員会  
委員長 中島 厚生

1. 開 会 鹿児島県歯科医師会  
専務理事 栄 千登美

2. 挨拶 鹿児島県歯科医師会  
会 長 伊地知博史  
日本歯科医師会 理 事 坂田 香里

3. 出席者紹介

4. 座長・副座長選出

5. 日本歯科医師会報告  
日本歯科医師会 理 事 坂田 香里

6. 協 議

(1)令和5年度各県広報関係事業計画及び予算につ  
いて

(2)各県提出協議事項について

(3)日本歯科医師会への要望及び質問について

(4)その他

7. 時期開催県挨拶 熊本県歯科医師会  
理 事 神崎 理子

8. 閉 会 鹿児島県歯科医師会  
常務理事 前田 裕一

今回の会議はコロナ禍あけの久方ぶりのリアル会議で初の試みとして「資料の完全ペーパーレス化」を目指し、各委員パソコン持参で行なわれました。会議全体は機器による進行の妨げとなるようなトラブル等もなく、極めてスムーズに進行されました。

日歯坂田理事より日歯広報関係の活動報告（広報誌、イベント、シンポジウム、ポケモンとの協同歯科啓発活動など）がなされました。また、日歯への要望・質問を受けて、日歯ホームページ「全国の歯医者さん検索」など会員の医院情報登録が各地区のホームページの検索機能をより充実した内容につながり、結果、HPのコストなどの負担軽減ができ、また全体としての取り組みがアクセス回数増加など国民、県民に向けより身近なHPが目指せるので医院情報登録をしっかりと行ない、検索機能を充実・活用してほしい」という提案もありました。

沖縄県からの提案



- ①休日診療の周知方法などの取り組みについては各県ホームページ活用
- ②HPへの会誌掲載についてはほとんどの県が会員専用ページに掲載をしていて特に、県民への閲覧を目的に行っていないなどの回答が多数を占めていました。
- ③HPの刷新については順次古い情報は削除し「アクセスしやすいサイト」も目指しているとの回答。

鹿児島県は「県民の皆さんに情報をできるだけ簡素化して見やすくする」というコンセプトのもと、12年ぶりにリニューアルをしたとの紹介がありました。その流れで各地区のHPも閲覧させて頂きました。

沖縄県の提案については各県とも意見を出して頂き、丁寧に協議が行なわれました。

次期開催の熊本県神崎理事の挨拶の中では「次回の開催も「ペーパーレス化」に取り組んで行なう」と話され、閉会となりました。

今回初めて参加してみて各県ともに「ペーパーレス化、HPの充実、会員・地域の皆さまに身近に感じられる歯科医師会を目指して」の真摯な取り組み、意気込みの強さを感じました。

主管の鹿児島県、また次期開催の熊本県の会員の皆さまの熱い心意気に感動し、送られてきた写真の数々を見ながら、その中の一員をになう責任の重さをひしひしと感じ、引き締まる思いがこみ上げてくる鹿児島での担当者会でした。関係各位の皆さま、ありがとうございました。



## • 県内報告 •

## 令和5年度医療従事者技術向上支援研修会

日時：令和5年8月27日（日）午前10時～午後1時  
場所：沖縄県歯科医師会館（ハイブリッド形式で開催）

学術委員 真喜志 早江子

## 次 第

日 時 令和5年8月27日（日）午前10時～午後1時

会 場 沖縄県口腔保健医療センター 大研修室

司 会 沖縄県歯科医師会

学術委員 真喜志 早江子

開 会 (10:00) 司 会

主催者挨拶 (10:01) 沖縄県歯科医師会

会 長 米須 敦子

講師紹介 (10:04) 沖縄県歯科医師会

学術理事 金子 智之

講 演 (10:05)

『歯科医療のDX時代への変革（デジタルワーク  
フローにおける歯科医師と歯科技工士の連携）』

講 師 株式会社 OFFICE en CRAFT

代表取締役 野林 勝司

質疑応答 (12:50) 司 会

感謝状贈呈 (12:59) 沖縄県歯科医師会

会 長 米須 敦子

閉 会 (13:00) 沖縄県歯科医師会

副会長 渡慶次 彰

令和5年度、第1回目の医療従事者技術向上支援研修会（技工士さん向け）が上記の日程で開催された。歯科技工最前線の内容で、今私達はデジタルを活用したDX化の加速、推進の潮流の中にいることを実感させるものであった。

CAD/CAM修復の普及は、歯科医療における補綴装置の製作過程の流れに大きな変革を生み、今後メーカーによる新素材の開発や、材料的な発展も大いに期待される。

切削加工のベースとなる技術は、一般工業製品から歯科材料を加工できるようにカスタマイズされて応用するため、材料の均質性、安全性も実現可能であり、ジルコニアに代表される高性能材料を機械加工し、審美修復の観点からも非常に精度の高い修復

物が製作される。その上に歯科技工士の技能を加えることで、現段階において最高の補綴物に仕上げることができる。

数多く存在するデジタルワークのソフトに関して、その加工が追い付いていない現状に対してどこに投資すべきか？人に投資するのが一番であり、今後技工士は単に補綴物を作るだけの仕事ではなくなり、デジタルワークフローにおける歯科医師との連携がますます求められるようになる。そして、IOS（口腔内スキャナー）普及による今後の展望を次のように紹介された。

1. IOS普及による歯科医療の変革
2. IOS普及による技工士の働き方改革：  
AIの活用やリモートワーク
3. IOS普及による患者データのセキュリティ：  
データの受け渡しと管理
4. IOSの保険導入への期待：  
往診、在宅診療ができる

技工士の帯同は、効率化と品質向上につながる上記の展望のもと、歯科技工士をはじめ、歯科医師、歯科衛生士の働き方の変革にむけ、新たな設備の充実が求められている。

近未来、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士という職業が、歯科医療のDX化の充実とともに、より魅力的な資格として輝くことを期待したい。

# Open Campus

## 沖縄歯科衛生士学校

専任教員 新垣花絵

6月17日（土）と8月10日（木）に、令和5年度のオープンキャンパスを学生ボランティアを中心に開催致しました。8月は台風6号の影響で日程を延期しての開催となりました。

志喜屋教務副主任による開会挨拶の後、実習室のユニットを使用し6月は印象採得、8月は模擬実習として歯面研磨を実施しました。校内案内、動画による3年間の学生生活紹介、在校生との懇談を行い、離島を含め県内各地から高校3年生を中心に2

回の開催で合計80名ほどの参加がありました。

本校では、次年度に向けた選抜試験願書出願が9月1日よりスタートしました。今回より、入学試験と呼ばれた試験は選抜試験へと名称が変わります。

会員の先生方、身近にDH学校入学を希望される方はいませんか？

会立の学校です！ぜひ一緒に学校を盛り上げましょう！！

### 下記にアンケート結果をまとめました。

#### ☆参加者の感想☆

実習体験や、在校生の方とお話しする機会、いろいろな教室をみることで学校の雰囲気が良くわかった。



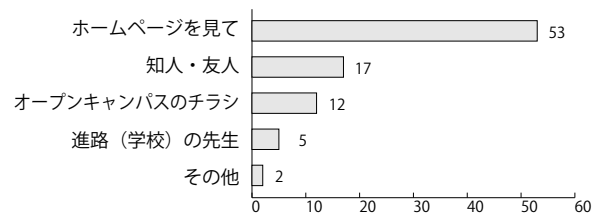
先生の手元が目の前のモニターで見れる実習システムがあるので、わかりやすそう！！

実業高校出身なので入学後の勉強が心配ですが、同じ高校の先輩に勉強のこと聞けて頑張れば大丈夫と安心しました。

## 令和5年度 オープンキャンパスアンケート結果（回答者75名）

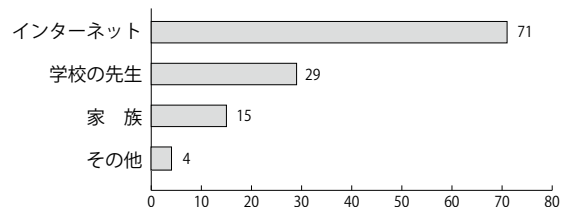
質問1. 本日のオープンキャンパスは何で知りましたか？（複数回答可）

|              |     |
|--------------|-----|
| ホームページを見て    | 53名 |
| 知人・友人        | 17名 |
| オープンキャンパスチラシ | 12名 |
| 学校の先生        | 5名  |
| その他          | 2名  |



質問2. 進路を決める時、情報収集はどのようにしていますか？（複数回答可）

|         |     |
|---------|-----|
| インターネット | 71名 |
| 学校の先生   | 29名 |
| 家族      | 15名 |
| その他     | 4名  |



質問3. オープンキャンパスの内容について

#### ①模擬実習

|           |     |
|-----------|-----|
| 良かった      | 74名 |
| 普通        | 1名  |
| あまり良くなかった | 0名  |

#### 〈理由〉

- ・2年生の先輩が細かくわかりやすく説明してくれた。
- ・楽しく実習しながら入学後のイメージができた。
- ・いろいろな技術を体験できて良かったと思います。

②在校生との懇談

|           |     |
|-----------|-----|
| 良かった      | 74名 |
| 普通        | 0名  |
| あまり良くなかった | 0名  |

〈理由〉

- ・通学・一人暮らしなど不安なことが聞けた。
- ・とても話しやすく優しい先輩だった。
- ・楽しいことも、大変なことも学校のリアルを聞けた。

質問4. 本校への受験について

|       |     |
|-------|-----|
| 受験したい | 52名 |
| 迷っている | 16名 |
| 受験しない | 4名  |

質問5. 「歯科衛生士」以外に興味のある職種は？

|    |     |
|----|-----|
| ない | 47名 |
| ある | 27名 |

〈職種〉 看護師・その他医療系・美容系  
公務員・観光関連 など

★★★★ Open Campus Photograph ★★★★★



# 体育祭を終えて

2年 鳥袋 音絵 / 仲本 さくらこ



10月6日に、全学年合同の体育祭をANAスポーツパーク浦添で行いました。準備は2年生の体育祭実行委員会を中心とし、夏休みから競技内容やプログラムを作成しました。私たちが1年生のころ、コロナがまだ終息しておらず、体育祭を行うことが出来なかったため、満足のいく体育祭を作り上げるべく、様々なアイデアが飛び交いました。

体育祭の前日には、全学年が講堂に集まり各チームごとに出し物を披露する団結式を行いました。ちゃ〜がんじゅ〜体操や先生方に纏わるクイズ、ジェスチャーゲームやイントロドンなど、出し物には各チームの個性が出ていて学生のみならず、先生方も楽しく参加していました。

そして迎えた体育祭当日、団結式を終えてチームの絆がより一層深まり、最高のスタートを切ることが出来ました。臨床実習に日々奮闘している先輩方にとっては息抜きの1日になるよう、私たち1・2年生は意気込んでいたように感じました。

体育祭では玉入れ鬼ごっこや障害物リレーをはじめとする5種目を行いました。障害物リレーでは、オキシカならではの歯科に関する○×クイズが出題されており、ペアで助け合って回答し喜ぶなど、素敵な場面も見られました。

今回の体育祭を通して、兄弟番号以外の関わりの少ない先輩や後輩とも、交流を深めることができ、素敵な思い出を作ることが出来ました。積極的にコミュニケーションを取り、チームを纏めてくれた先輩方と、裏方として学年全員が楽しめるように、随時動いてくれていた体育祭実行委員会には、とても感謝しています。

全生徒がこれからの臨床実習や学校生活において、「今日からまた頑張ろう」と思えるキッカケになればと思います。



# 楽しかった研修旅行

沖縄歯科衛生士学校 34期生

## 研修旅行1日目

私たち34期生は、5月8日～10日の2泊3日で関東に研修旅行へ行きました。

1日目は、株式会社GCでホワイトニングの講義やシリコン印象材の取り扱いなどを学習しました。なかなか見ることができない機器・器材に実際に触れることで、歯科について幅広い知識を得ることが出来ました。歯科衛生士になる私達にとって、とても貴重な経験となりました。

## 研修旅行2日目

2日目は、みんなが楽しみにしていた夢の国ディズニーランドです。とても迫力あるアトラクションや可愛いキャラクター達に会えて、日頃の疲れも吹き飛びました。スプラッシュマウンテンが一番怖かったですが、仲間と励ましあって乗り越えました。アトラクションの行列では、国家試験に向けての一问一答をすることで、長い待ち時間もあっという間に感じました。今年はディズニー40周年記念ということで、普段は手に入らない貴重な限定グッズを

掴み取る事も出来ました。園内は広いので沢山歩きましたが、こまめな水分補給で熱中症対策を心がけ、集合時間にも遅れないよう行動しました。

## 研修旅行3日目

3日目は自由行動でした。その日の早朝に震度5の地震があり、とても驚きましたが、大きなトラブルはなく、事前に立てた計画通りに楽しむことができました。乗りなれない電車や人の多さに少し戸惑いながらも、担任の先生やクラスメイトと居場所の共有など連絡を取り合い、無事に帰路につきました。

この研修旅行を通して、今まで以上にクラスの団結力や仲が深まったと思います。また、事故もなく安全に過ごせたのは、先生方や旅行会社の皆さん、周りの方々のおかげです。ありがとうございました。

これから半年間の臨床実習が始まりますが、素敵な歯科衛生士になれるよう最後まで一生懸命頑張ります。







# 第75回 九州歯科医学大会

★九州歯科医学大会

# 野球大会 in 宮崎



沖縄県歯科医師会野球部 佐久本 圭

4年ぶりの参戦となる第75回九州歯科医学大会の野球大会が、令和5年10月22日(日)に気持ちのいい秋晴れの中、ひなた宮崎県総合運動公園軟式野球場A・Bにて行われました。

今年は安里、神谷というフレッシュな大型新人も加わり、ノリに乗ってる少数精鋭12名の沖縄チーム。

初戦の相手は熊本県。先発は不動のエース西平三喜男選手。

0-1で迎えた二回表仲本選手のセンター前ヒットを皮切りに反撃開始。四球でランナーをため小林選手の左中間への2点タイムリーツーベースヒットで逆転。その後も安里選手のレフトオーバーの2点タイムリーツーベースで加点し、この回4点が入る。

その裏は長打を打たれたりしたものの、最少失点におさえるエース西平が粘りのピッチング。

そして3回表、仲本選手のスリーベースから始まり、佐久本のセンター前タイムリーポテンヒット、つづく加藤選手の四球などで満塁となり、打席に立つのはルーキー安里。ワンストライクからの2球目、相手投手の投げた渾身の高めストレートを軽々と左中間深いところ(推定130M)に勝利を決定づけるグラウンドスラム!!

この試合、安里選手は3安打(1HR)6打点と大谷翔平級の活躍でした。

その後も与那覇選手のエンタイトルツーベースなども飛び出し、打ちに打ったり走ったりで6点のビッグイニングを作り出しました。

ムードメーカー仲里選手を中心にベンチも大盛り上がりで、なぜかヒットで出塁した崎濱選手は味方からヤジられてました。(笑)

制限時間の関係で4回までの試合となりましたが、最後のイニングはエース西平が気持ちよく0点で抑え、13-5で勝利しました。この試合はなんとスタメン全員出塁!九地連での久しぶりの勝利で旨い酒確定です。

|     |   |   |   |   |  |    |
|-----|---|---|---|---|--|----|
| 沖 縄 | 0 | 4 | 6 | 3 |  | 13 |
| 熊 本 | 1 | 1 | 3 | 0 |  | 5  |

## 熊本戦オーダー

- 1 (捕) 安 里
- 2 (一) 仲 程
- 3 (遊) 与那覇
- 4 (中) 吉 田
- 5 (三) 仲 本
- 6 (EH) 佐久本
- 7 (二) 加 藤
- 8 (右) 崎 濱
- 9 (左) 小 林
- 10 (投) 西 平



そして準決勝の相手は福岡県です。とにかく強豪、ベンチから人が溢れるほどの選手層、しかし今年の沖縄は違います。試合はエース西平の好投も光り2回まで両チーム無得点。振りの鋭い福岡打線は外野にポンポン飛ばしてきますが、センター吉田選手の統率のもと大胆なシフトをひいて相手にプレッシャーをかけます。ジャイアントキリングがあるかもしれないぞという空気がグラウンドに漂い始めたつづく3回表、俊足小林選手が内野安打で出塁、そして盗塁も決めチャンスを作ります。このチャンスで前打席会心のツーベースヒットを放ったキャプテン仲程選手登場!期待が膨らみます、ベンチの声援も自然と大きくなります。そしてまたしてもレフトへ均衡を破るタイムリーヒットを放ちキャプテンがチームを引っ張ります。

しかしやっぱり福岡は強い。裏に逆転を許し、4回にはエラーなども絡み大差をつけられ1-9で敗退。

点差は開きましたが、勝てない相手ではないと皆が思った試合でした。

|     |   |   |   |   |   |  |   |
|-----|---|---|---|---|---|--|---|
| 沖 縄 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |  | 1 |
| 福 岡 | 0 | 0 | 2 | 7 | × |  | 9 |

## 福岡戦オーダー

- 1 (捕) 安 里
- 2 (一) 仲 程
- 3 (遊) 与那覇
- 4 (中) 吉 田
- 5 (三) 仲 本
- 6 (二) 仲 里
- 7 (EH) 崎 濱
- 8 (右) 佐久本
- 9 (左) 小 林
- 10 (投) 西 平

そして温泉で汗を流した後は、WBCの宮崎強化合宿で宇田川会が行われた高級焼肉屋ひしめきにて打ち上げを行い、勝利を肴に美味しいお肉と旨い酒を頂き野球談議に花を咲かせました。

さあ来年は沖縄開催です。来年は今回参戦できなかったこれまた大型新人、當山大輔選手も加わりチーム力アップが見込まれています。どんどん野球好きな方には野球部に入っていて、和気あいあいと一緒に野球を楽しんでホーム沖縄で3つ勝ってアレしたいものです。



最後に、米須会長をはじめ宮崎までかけつけて応援して下さいました先生方、本当にありがとうございました。





## 第75回 九州歯科医学大会

★九州歯科医学大会

# ボウリング大会 in 宮崎

第75回 九州歯科医学大会厚生ボウリング大会が令和5年10月22日、宮崎県宮崎市宮崎エースレーンボウリング場にて48名の参加者の中おこなわれた。4年ぶりの大会でコロナの影響か？例年の半数の参加となりました。沖縄県チームは5人の参加、今回は新人の松川拓幹先生が初参加。これからの活躍に期待がかかります。

レーンオイルコンディションは38フィート26ml。かなり遅い設定、ピンの前で曲りストライク、スペアが取りにくい設定とされており各県の先生方も1Gから苦勞しているようでした。



そのような中、我が沖縄県チームの神元龍一先生が3ゲームトータル614点個人戦3Gで3位の成績、個人総合9Gでは中村亨が9位の入賞、団体戦は途中までは3位キープしていましたが惜しくも5位、優勝は次回持越しとなりました。全員の力で絶対に優勝旗を沖縄に届けたいと思います。大会後は剣道部の平良恵信先生、神下太一先生と合流し大会の反

ボウリング部 部長 中村 亨  
省会そして慰労会をかね宮崎の夜の街へ繰り出し焼酎木挽きブルーを飲み、宮崎牛や地鶏を堪能しました。明日から来年の沖縄大会にむけボウリングの練習に励みたいと思います。

“継続は力なり”いつかきっと、……………

最後になりましたが、今回激励に来ていただきました県歯科医師会米須会長、渡慶次副会長、屋嘉専務、真に感謝申し上げます。

“ありがとうございました”

沖縄県チーム 今回の参加者と結果 (HC込) 9G

|       |       |      |       |
|-------|-------|------|-------|
| 赤地 一史 | 1G HC | (11) | 1634点 |
| 熊谷 徹  |       | (0)  | 1420点 |
| 神元 龍一 |       | (0)  | 1581点 |
| 松川 拓幹 |       | (0)  | 1405点 |
| 中村 亨  |       | (7)  | 1715点 |





第75回  
九州歯科医学大会

★九州歯科医学大会

# テニス大会 in 宮崎



2023 November Vol.4

令和5年10月22日宮崎市生目の杜運動公園にて開催されました。

沖縄県から新垣善章、上地智博、長堂芳子、能登原敬、福里剛の参加です。

いつもなら参加してくれるだけで有難く、もうすぐ70歳迎えようとしているZ先生とU先生、予選リーグでは、何度も相手にマッチポイントを取られながらも粘り強く逆転勝利し久しぶりの本戦トーナメント進出。1回戦では、過去何度も優勝経験のある強豪チーム（過去殆ど0-6か1-6で完敗）にまさかまさかの大勝利。

今回予選リーグから厳しく速いボールにもY子先生は上手に対応していました。



テニス部 部長 福里 剛

N先生は奥様が宮崎出身ということもあり友人と応援にきたせいか予選リーグからフルスロットルで頑張っていました。

私は2月に大怪我して、練習不足の割には思った以上動けて良かった。

準々決勝で敗退しましたが、充実した遠征でした。来年の沖縄大会が楽しみです。

- 優勝 博多山笠 (福岡)
- 2位 肥後もっこす (熊本)
- 3位 宗麟 (大分)



【団体予選リーグ】

|            | A1          | A2          | A3          | A4          | 勝敗 | 得失ゲーム | 順位 |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|-------|----|
| A1 博多山笠    |             | 6-0 6-0 6-1 | 6-0 6-0 6-2 |             |    |       | 1  |
| A2 軍艦島     | 0-6 0-6 1-6 |             |             | 2-6 6-5 5-6 |    |       | 4  |
| A3 くまモンミクス | 0-6 0-6 2-6 |             |             | 2-6 6-2 4-6 |    |       | 3  |
| A4 かりゆし    |             | 6-2 5-6 6-5 | 6-2 2-6 6-4 |             |    |       | 2  |

試合順 ① 1 VS 2 ② 3 VS 4 ③ 1 VS 3 ④ 2 VS 4

|           | B1          | B2          | B3          | B4          | 勝敗 | 得失ゲーム | 順位 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|-------|----|
| B1 肥後もっこす |             | 6-0 6-2 6-2 | 6-2 6-3 6-0 |             |    |       | 1  |
| B2 霧島     | 0-6 2-6 2-6 |             |             | 6-1 6-5 5-6 |    |       | 2  |
| B3 めじろん   | 2-6 3-6 0-6 |             |             | 6-5 6-4 1-6 |    |       | 3  |
| B4 かちがらす  |             | 1-6 5-6 6-5 | 5-6 4-6 6-1 |             |    |       | 4  |

試合順 ① 1 VS 2 ② 3 VS 4 ③ 1 VS 3 ④ 2 VS 4

|        | C1          | C2          | C3          | C4          | 勝敗 | 得失ゲーム | 順位 |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|-------|----|
| C1 宗麟  |             | 6-1 6-0 6-1 | 6-2 6-2 6-4 |             |    |       | 1  |
| C2 白霧  | 1-6 0-6 1-6 |             |             | 2-6 1-6 2-6 |    |       | 4  |
| C3 火の国 | 2-6 2-6 4-6 |             |             | 1-6 2-6 6-1 |    |       | 3  |
| C4 桜島  |             | 6-2 6-1 6-2 | 6-1 6-2 1-6 |             |    |       | 2  |

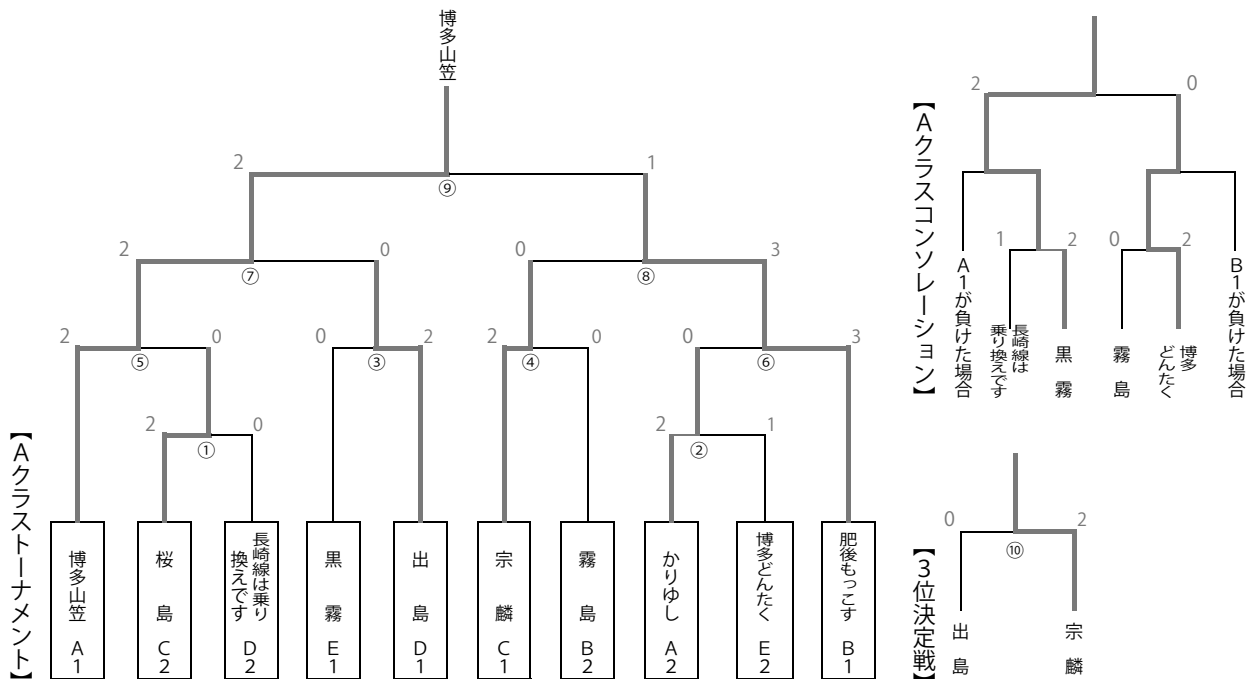
試合順 ① 1 VS 2 ② 3 VS 4 ③ 1 VS 3 ④ 2 VS 4

|               | D1          | D2          | D3          | D4          | 勝敗 | 得失ゲーム | 順位 |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|-------|----|
| D1 出島         |             | 6-5 5-6 6-4 | 5-6 6-0 6-4 |             |    |       | 1  |
| D2 長崎線は乗り換えです | 5-6 6-5 4-6 |             |             | 6-1 6-4 2-6 |    |       | 2  |
| D3 久留米河童蓮     | 6-5 0-6 4-6 |             |             | 0-6 6-2 2-6 |    |       | 4  |
| D4 無法松        |             | 1-6 4-6 6-2 | 6-0 2-6 6-2 |             |    |       | 3  |

試合順 ① 1 VS 2 ② 3 VS 4 ③ 1 VS 3 ④ 2 VS 4

|            | E1          | E2          | E3          |  | 勝敗 | 得失ゲーム | 順位 |
|------------|-------------|-------------|-------------|--|----|-------|----|
| E1 黒霧      |             | 6-1 6-2 6-0 | 6-1 6-4 6-2 |  |    |       | 1  |
| E2 博多どんたく  | 1-6 2-6 0-6 |             | 6-2 4-6 6-2 |  |    |       | 2  |
| E3 博多サザンクス | 1-6 4-6 2-6 | 2-6 6-4 2-6 |             |  |    |       | 3  |

試合順 ① 1 VS 2 ② 2 VS 3 ③ 1 VS 3





# 第75回 九州歯科医学大会

★九州歯科医学大会

## 俳句大会 in 宮崎



南部地区会員 長 堂 芳 子

俳句大会が4年ぶりに開催されましたが、投句参加者はわずか7人（大分県4人、宮崎県1人、沖縄県2人）という寂しいものとなりました。長崎県大会以来、コロナ禍で熊本県大会が2年中止、昨年の鹿児島県大会も中止となっていた事で、その間に俳句の常連参加者の高齢化が進んでしまったのかもしれないと推測されます。

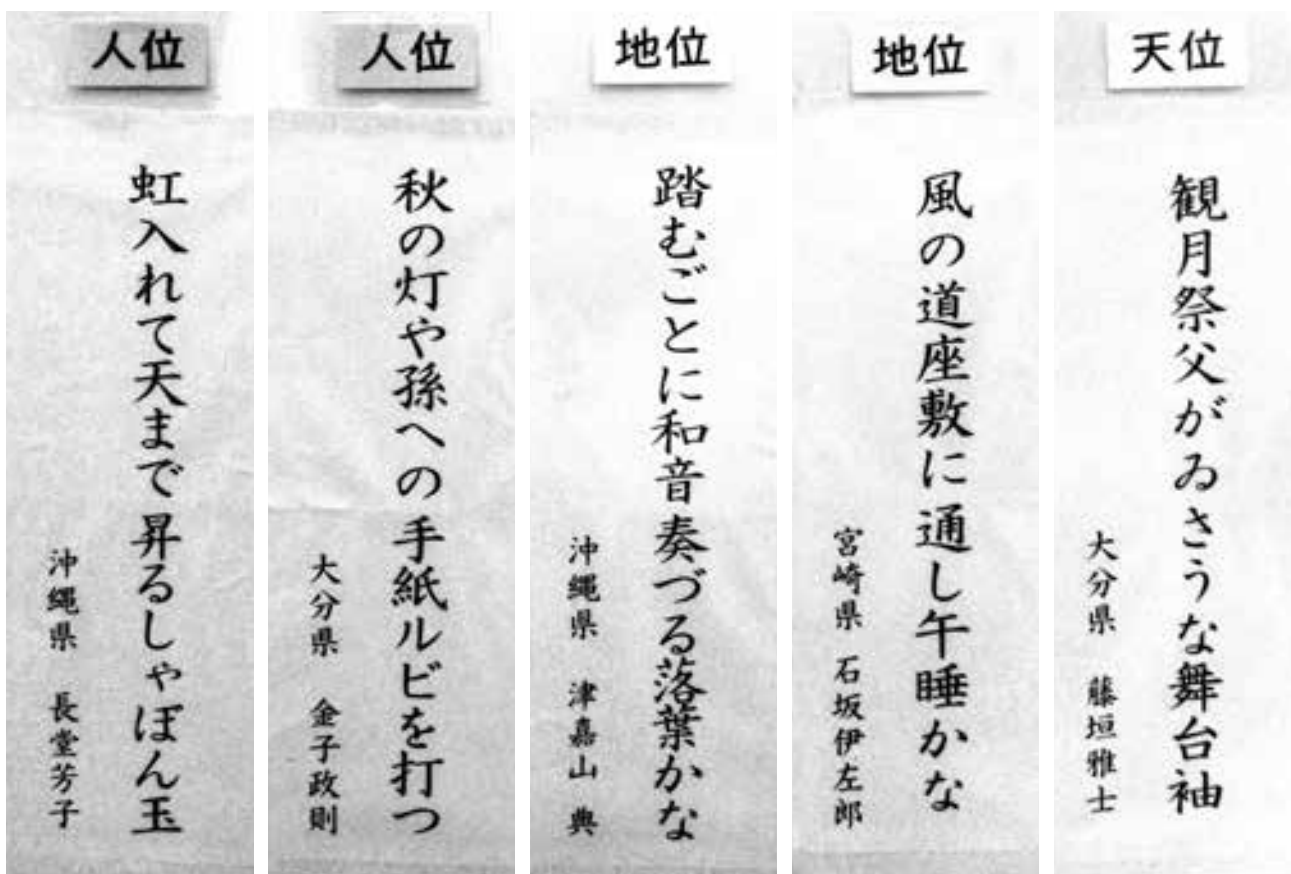
昨今のテレビ番組「プレバト」で、芸能人達の俳句に取り組む姿から俳句人口の底上げが起こり俳句人気が再燃してきた感があったのですが、歯科界にはその波は及んでいなかったようです。

俳句大会は、1人3句ずつ投句を行い1人5句ずつ選句します（選句の際自分の句は選んではならないルールがあります）。集計の結果、得票数の多い句から天位、地位、人位を決定します。

今年は、沖縄県からの参加した2人の入賞がありました。

津嘉山典様（津嘉山一先生の奥様）は初参加にも関わらず、素晴らしい句で見事に入賞なさいました。おめでとうございます。琉球新報の俳壇にも投句をなさっているとのことでした。

受賞作品を紹介します。





# 第75回 九州歯科医学大会

★九州歯科医学大会

# ゴルフ大会 in 宮崎



南部地区会員 照屋 均

少し汗ばむぐらいの雲ひとつない好天下、女子プロ最終戦会場でおなじみの宮崎GCにて今年も大会が開催されました

一般91名、シニア21名 計112名 最年少37歳から81歳までの元気なゴルフ好きの先生方が参加されました

県代表は7人のゴルフ侍で構成上原淳先生が最高年齢賞を受賞されました。

競技はWペリアで行われ成績は以下の通りで、3名の先生が上位入賞、おめでとうございます

一般 乾 太郎 2位  
大西 満 3位

シニア 太田正昭 3位  
団体戦は4位に終わりました。

来年の沖縄大会は那覇ゴルフ倶楽部にて開催予定です。

県内の多くの先生方が参加して大会を盛り上げて欲しいです。





## 第75回 九州歯科医学大会

★九州歯科医学大会

# 剣道大会 in 宮崎



令和5年10月22日（日）青空が広がった秋空の下、ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館にて、九州歯科医学大会剣道大会が行われました。

宮崎県の武道館はとても格式の高い雰囲気、広々とし、清らかな空気感、それでいて、どっしりとした重厚感を併せ持つ、気品に溢れる、武道をするための武道館でありました。

今回はコロナ禍の為、R1年の長崎大会以来の4年ぶりの開催となりました。大変なご時世のなか、開催に向け工夫をこらし、ご準備していただきました宮崎県の先生方には深く感謝いたします。

またこうやって大会が開催できたということが本当に嬉しく思います。

各県の先生方も久しぶりにお会いすることができ、今まで以上に多くの他県の先生方からも声をかけていただけました。「剣道を通じ会員相互の親睦を図ることを目的とする」会の趣旨を深く感じることができる素晴らしい大会となりました。

剣道の勝ち負け以上に、開催できたことが本当に尊いことですね。

「そうそう、世の中には勝ち負けだけではない、それ以上に参加することで得られるものは多い。う

はごろもファミリー歯科 神下 太一  
んうん。……。」

ということで試合結果のご報告です。

団体戦、本来5人で戦うところ、今回は残念ながらメンバーが揃わず沖縄県チームは3人での参加となりました。

先鋒：神下 太一（私） 中堅：平良 恵信先生  
大将：津嘉山 一先生の3名です。

団体戦1回戦は熊本Aチームとの闘い、先鋒：神下は 小手で相手にポイントを取られましたが、すかさず面でポイントを取り返し、引き分け。

中堅の平良先生は面でポイントを取られましたが、小手でポイントを取り返し引き分け。

大将：津嘉山先生は小手を取られた後 時間制限で逃げ切れ、惜しくも負けてしまいました。

続く2回戦は長崎県チームとの闘い、先鋒：神下中堅：平良先生とも終盤のところでポイントを取られてしまい負け、大将の津嘉山先生は気合で踏みとどまり、引き分けとなりました。結果、団体戦は予選敗退となりました。

個人戦です。神下（私）は1回戦、大会唯一の若





い女性選手との対戦（しかもメッチャ美人）。これは勝てるかなと思いきや、なんと名簿を見ると、6段をお持ちの超強いお方でした。結果は当然の1回戦負け。

平良先生は1回戦、相手の選手ともお互い一步も譲らず、なんと延長戦を4回繰り返して、最後に面を取られてしまい惜敗。

津嘉山先生は、今年も唯一ベスト4まで勝ち残り、午前中は終了、みんなで楽しく昼食をとった後、今年もやはり体が冷えてきたところで、腰のあたりを気にしている様子。

午後になり、準決勝に挑むも本来の強力な突進力は見られず残念ながら負けてしまいました、それでも3位入賞と見事な成績を修められました。

沖縄県チームとしては、なかなかあと一步のところで勝ちを逃す大会となりましたが、今年の優勝チームは「熊本Aチーム」準優勝は「長崎県チーム」でありました。

なんと、団体戦予選で沖縄県チームと対戦し、接戦を制した2チームがそれぞれ優勝と準優勝ということで、沖縄県チームも「よく頑張った」と思います、うんうん。

繰り返しになりますが、今年は勝ち負け以上に開催できた、参加することができたということに意義があると感じた大会でありました。

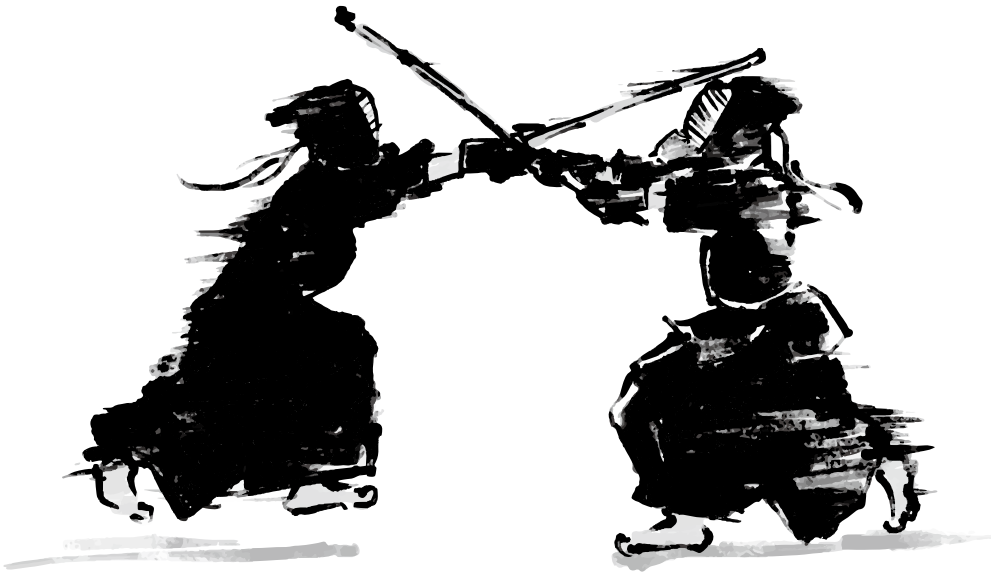
また、米須会長をはじめ宮崎の会場にまでかけて応援くださった先生方、本当にありがとうございました。

さて来年は沖縄県主催での大会です。どうにか5人メンバーをそろえて他県のチームを迎え討つ事が出来るよう、メンバーの層を厚くしていくことが沖縄県チームの課題です。

お近くに剣道経験者もしくは新たに剣道を始めてみたい先生のご情報ありましたら是非ご連絡下さい。よろしく願いいたします。

P S：うちの子供から今回の宮崎遠征にあたり、「宮崎のチキン南蛮」と「ほか弁のチキン南蛮」はどっちが美味しいのか調べてきてほしいとミッションが下されました。

宮崎では出来るだけ多くのチキン南蛮を食べて回りましたが結果はどれも美味しくて甲乙つけがたいということで、「世の中、勝ち負けだけではないんだよ、それ以上に大切なものがあるんだよね・・・」ということを伝えました。



# ハーモニカに再会… 八十の手習い



(医) 健全会 上原歯科クリニック (浦添) 上原 淳

遠い昔昭和30年前半、中学生の頃、母親からか、教員の父親か定かではないが、それとなく手にしたクロマチック

ハーモニカが最初のハーモニカとの出会いだった。

当時、音楽の教科書にあった「ふるさと」、「太平洋」、「埴生の宿」、「オールド・ブラックジョー」などを我流で、音を“探<sup>さぐ</sup>りながら吹いていた。進学のため東京に出て、練習の為に「ハーモニカ独奏曲集」・東京楽譜出版社、「本譜によるハーモニカ世界の音楽」・協楽社会、を手に入れた。しかし、音符など音楽についての素養は全く持ち合わせてない小生には、楽譜を目の前にしても、特に新しい曲はその旋律をつかむことが出来ず、聞き覚えのある曲を“探り吹き”するのが精一杯だった。それらの本は、今ではかなりくたびれて茶色に変色し、脆くなっているが、まだ手元にある。その時のハーモニカも60余年、時を経ているが、なんとかそれなりに健在である。

当時、住んでいた東京都の西多摩、小金井市はまだ田んぼ、畑があって、国木田独歩の「武蔵野」の面影が随所に見られススキ、クヌギ、コナラ等の雑木林が身近にあって、一人でハーモニカをお供にあてもなくさまよったものだった。

時折、奥多摩の1000～1800mの低山に入ってトレッキングを楽しんでいたのも、ハーモニカをナップザックに入れて、人影のない見晴らしの良い所で、人目をはばかることなく吹いていた。将に我流ではあったが思う存分に吹いた。その頃が懐かしく甦ってくる。

その後、仕事、家庭と生活環境が変わるにつれて、ハーモニカに触れる機会がめっきりなくなって、いつの間にか忘れてしまった。それらの本も、ハーモニカも本棚の奥に大事なままになっていた。

仕事を退き、もっぱら仲間同士でゴルフに夢中になっているが、経年的に体力の低下は避けられず、そのスピードがヒタヒタと加速されてきたのを実感

している。そろそろ、インドアで楽しめる何かを見つけないかと思い始めていた。手始めに、以前少しばかり経験したことのある水彩画でも始めてみようかと気持ちが動き出した。

その矢先、朝刊を見ながら妻と雑談していた最中に、何気なく彼女が、カルチャースクールのチラシの一角に「伊禮先生のハーモニカ・コース」があると教えてくれた。ごく身近な当会員の伊禮 昭洋先生である。

将に、渡りに船とばかり、その日のうちに南風原町にある「ウエル・カルチャースクール」に申し込みの手続きに行った。音楽に関しても全く不細工を承知の上だが、いつも真剣勝負の姿勢の伊禮先生に指導を受けて、どこまで出来るか不安はあるが、これからハーモニカを楽しみにしたいと新たに衝動が湧き上がってきた。

そのコースは複音ハーモニカを使用し、4月から7月までの3ヶ月間、約10名のメンバーで第一期を終わり、新しい人を加えて8月スタートの第二期目に入ったところ。小生は相変わらずモタモタしながらも、個人個人の力量に応じて丁寧な指導を受けている。尚、曜日は木曜日で、時間は午後3時から90分間となっている。

各個人演奏、先生の模範演奏、CD演奏を交えながら、厳しいなかで和気あいあいとレッスンが進んでいる。この所、ハーモニカの練習に余念がなく、頻繁に通っていたゴルフフレンジが、やや縁遠くなって来た。

先生の指導のコンセプトは、ハーモニカ独自の単音できれいな演奏をすることで、また一人でも多くのハーモニカ愛好者を増やしたい、と口癖のように話されている。

ここからは、ご存知の方は多いと思われそうですが、伊禮先生の人となりについて述べてみたい。

数年前、我がスタディーグループの会合の席だったか、その会員の伊禮 昭洋先生のハーモニカ演奏を聴く機会があった。ハーモニカ独特の哀愁のある

音色や、和音を交えた操法で複数の楽器で演奏しているかのようで、他の楽器にはない多彩な響きに触れて感激したものだ。御本人は学生時代、敢えて休学してバイオリンを練習したようだが、その後、ハードな練習がたたりに指の腱鞘炎を患って、バイオリンを諦めたとのこと。あるきっかけでハーモニカに魅せられて、某先生の門下に入って本格的にハーモニカの道に入られたようだ。臨床は言うまでもなく、本物を求めて、いつも真剣な眼差しの姿に先生らしさを感じているが、今ではハーモニカについても、アマチュアの域を超えて、プロフェッショナルの域に達しておられるのではないかとさえ思われる。

先生は以前から「十三音クラブ」と言う携帯可能なさまざまな楽器から成る楽団を立ち上げ、主宰されて、学校、施設、地方を巡回され、“日常に音楽”と地道な活動も続けておられる。



日常の会話では、話題が豊富でウィットに富み、和やかで、笑みが絶えないので、その周りにはいつも充実した楽しい雰囲気になる。。



終わりに、伊禮先生のエッセイ、「我が心のハーモニカ」(平成18年9月3日)、の原文の一節を抜粋して、先生の思い出を汲み取って頂きたい。

「様々な楽器の中で、ある程度年輪が増えた方にはハーモニカが一番馴染みやすいのではないかと思います。

指を使う楽器は日頃動かしていない指の動き司る運動神経を最初から鍛えていかなければならないが、ハーモニカは左右5～6センチ揺るだけ。また音を出すのも容易、息を利用して吹く楽器の中で、吸っても音が出るのはハーモニカだけで大変生理的。つまり呼吸しながら演奏ができ、体に密着しているので馴染みよく、感情移入のし易い楽器なのだ。少しの稽古でも音が出せ、もう少し頑張れば簡単な曲は探り弾きもでき、携帯性があるのでピクニックの折や旅先でも楽しめる。西部劇によく出てくるシーンで、カウボーイが岩や荷物を背に焚き火をしながらも吹くハーモニカは技巧を要しない旋律だが、旅行く男の心情をうまく表現しており、小さいながら大きな表現力を秘めた楽器だと思う。少し物憂いが、夕陽が美しいと思うようになったら、このロマンティックな楽器を口にしてみてもいかがだろうか」と。

一句

“昼下り 蝉につられて ハーモニカ”



今、身近で起きている事～子供達の未来は…

## ここまで来てしまった環境汚染・環境破壊

(医) 健生会 上原歯科クリニック (浦添) 上原 淳



多くの方がご存知だと思います。それは、確か2021年、

12月、NHK・BSで放送されたドキュメンタリー番組「それでもプラスチックは必要ですか?…人体をむしばむプラスチック、We the guinea pig…」、衝撃的なタイトルの番組で、印象深く脳裏に残っている。We the guinea pigはタイトルの中のそのままの文言だが、この言葉に番組の強く訴えたいことが込められている。“今、人類は試されている”と……

30数年前にプラスチック・ダイオキシンによる“環境ホルモン”の人体への影響について、マスコミ等で取り上げられて、その真偽に関して大きな論争を引き起こした。しかしいつの間にか潮が引くように、忘れ去られ、話題に上がらなくなった。

過去にレイチェル・カーソンの「沈黙の春」、有吉佐和子の「複合汚染」に目を通した事もあって、合成化学物質による環境汚染問題への関心が、この番組で再び呼び起こされた。重々しいナレーション入りのその番組の映像を目にすると、地球規模の予想以上に深く根差したその深刻さ、と同時にそのような汚染に日常生活で、何らかの形で加担している自身の矛盾さを実感した。

これを機会に、改めて環境汚染問題を紐解いて、「まずは、知る」ことが第一歩と思い立ち、昨年から関連の書籍の読み直し、さらに、最近の関連書籍に目を通して問題の整理を試みた。

しかしながら、いざパソコンを前にすると当初予想した通り、広範囲なうえに、とてつもない分量の複雑な内容に、小生の力量の限界を思い知らされ、たじろいでしまった。そもそも、その取っ掛かりを付ける手立てがなく、遅々として進まず、時間ばかりが過ぎて行った。

ここに来て、これからの孫たちの世代の危うさが頭から離れず、一念発起して、ようやくパソコンを前にした。

まずは、小生が目を通した本、「沈黙の春」、「複合汚染」の内容の概要を思つくままに書き綴って、環

境汚染問題の現在までの流れをたどり、これまでの環境汚染の実態と問題点を考えてみることにした。

後半に、深刻なプラスチックによる環境汚染、さらに増加し続けていると言われる不思議な現象、即ち、不妊症の増加、中でも男性の不妊、前立腺癌、精巣癌、乳癌の増加傾向、発達障害など、と汚染物質から生じる“内分泌攪乱物質・環境ホルモン”との関連性について触れてみたい。

これらの衝撃的な現象を世に問うて、論争を巻き起こしているシーア・コルボーンらの「奪われし未来」などを通して話をすすめていく。

最後に、地球の環境破壊の項目を挙げて、地球規模の環境破壊の全体像に少し触れてみたい。

小生の稚拙な文章を補うために著者の文章の引用が多くなることをご容赦頂きたい。

先ず、環境汚染については、何はさておいても、約60年前、1962年、米国で出版されたレイチェル・カーソンの「沈黙の春」を取り上げなければならない。日本語訳はその2年後に新潮文庫で出版されて、小生が手にしている本は平成30年発行で77刷目になっていて、世界的なベストセラーになったと言われている。

カーソンは1907年、合衆国・ペンシルベニア州に生まれ、大学院で動物学を専攻し、学位を得て、合衆国漁業局に勤務の傍ら海洋生物に関するエッセイを書き始めた。45歳の時、文筆に専念するために管職を退いたと言われている。

当時1950～60年前半は第二次世界大戦後、毒ガスなどの軍需産業の“落とし子”として、DDT等有機塩素系殺虫剤、パラチオン等の有機リン酸系等の合



成化学薬品が盛んに産業化された時代だった。当時のアメリカ映画で広大な農地に、飛行機で農薬が空中散布される映像がよく見られて、その規模の大きさ、ダイナミックな光景に子供ながら圧倒された。

DDTは第二次世界大戦から戦後かけて、ノミ、シラミの駆除、マラリア蚊駆除の特効薬としてもその威力を発揮した。それはスイスのパウル・ヘルマン・ミュラーによって発見されて、後にその功績によりノーベル生理・医学賞を受賞した。

当時、DDTは人体には安全であると喧伝<sup>けんてん</sup>されていたらしい。

新しい合成化学薬品は年を追うごとに増産されて、合衆国では、二次大戦直後1947年の生産量から、1960年には約5倍に増産されるようになって、一大産業になってきた。

DDTの殺虫剤の威力は農業分野、土地開発分野でもその威力を発揮して、世界的に一時は殆ど無差別に、大量に散布された。しかしながら、DDTははじめ、合成化学薬品は、時とともに自然界に拡散、蓄積して、さらに野生動物、家畜の体内にも取り込まれ、直接的、間接的な問題が日常生活でも顕在化されるようになった。

そのような状況下、カーソン曰く、「1958年の1月だったろうか、オルガ・オーウエンズ・ハキンスが手紙を寄こした。彼女が大切にしている小さな自然の世界から、生命という生命が姿を消してしまつたと、悲しい言葉を書き綴ってきた。まえに、長いこと調べかけてそのままにしておいた仕事を、またやり始めようと、固く決心したのは、その手紙を見た時だった。どうしてもこの本を書かなければならないと思った」。

「沈黙の春」はこのような事がきっかけで生まれた。

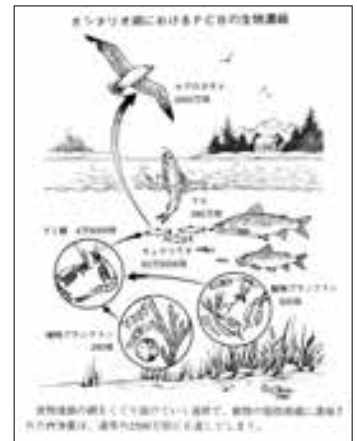
本人も述べているように、長年にわたって環境汚染問題を研究していた多くの研究者からの資料提供、さらに国内外の政府機関、試験所、研究所の協力を得てようやく、この本は完成した。

382ページの文庫本には数多くの実証研究があって、農科学者らしい緻密な事実の積上げ、それをエッセイストらしい美しい文章で記述されている。

ある限定された害虫を駆除する目的で、あたりか

まわらず散布された合成化学薬品・殺虫剤は、自然界の全て、土地、河川、人、家畜や、魚、鳥、爬虫類など野生動物、プランクトンはじめ水中の生物などに降りかかっていく。この本が出版された1960年前半で、「生物界、無生物界を問わず合成殺虫剤はいたるところに進出して、今ではその汚染を被らない所はほとんどない。大きな川、地下水、土壌には合成化学薬品のいまだに残滓が見つかる。魚、鳥、爬虫類、家畜、野生動物の体も例外ではない」と。

このような合成化学薬品によって、死など直接的影響を受けることのみならず、長年わたり残留、蓄積されて食物連鎖によって、より高等動物内で順次生体内で濃縮されていく。このようにして生体内濃縮された合成化学薬品は、食物連鎖の高位になるとともに生体内濃度が高くなる。それまでには、見かけられなかった癌、生殖異常、形態異常、などの症状が鳥類、魚類、家畜、ひいては人にまで現れて来た。(図)



また、合成化学薬品は母体を通して子孫へ及んでいくといわれた。このような化学物質の残留物が母乳に見出されていて、少量とは言え、母乳で育つ乳児は定期的に摂取し、その体内で蓄積していく。動物実験では胎盤を通過し胎児に移行することが確認された。この事は有毒物質の次の世代への負の遺産となりうる。

器官分化・形成期の繊細な幼弱な生体への影響は図り知れない。

この本の一節に「自然は、沈黙した。薄気味悪い。鳥たちはどこへ行ってしまったのか。皆、不思議に思い、不吉な予感におびえた。裏庭の箱は、空っぽだった。ああ鳥がいた、と思っても死にかけていた。おるぶる体を震わせ、飛ぶことができなかった。春が来たが、沈黙の春だった。いつもだったら、コマツグミ、ネコマネドリ、ハト、カケス、ミソサザイの鳴き声で春の夜は明ける。・・・だが、いまはもの音一つしない野原、沼地、・・・みな黙りこくなっている」。環境汚染の実態を語る象

微的な一節である。

当時は分子生物学の発達は現在に比べて未発達で、さらに電子顕微鏡がようやく世に出て来た時代にあつて、レイチェル・カーソンは合成化学物質によると思われる異常所見を染色体、細胞分裂異常、エネルギー代謝異常に関連付けている。

更にカーソンは「このペースで、合成薬剤を使い続けると、植物、動物の組織の中に、有害物質が蓄積されて、やがては生殖細胞を突き破り、遺伝につかさどる部分を破壊して、変化させる。未来の世界の姿はひとえにこの部分にかかっている」と述べて、早くも人類の将来を危惧した。

特筆すべきことは、生殖異常の実例を挙げて、性ホルモンとの関連に言及している。近年クローズアップされてきた「内分泌攪乱物質・環境ホルモン」に関連することで目を引いた。

また発癌性物質等の有害物質の「安全量」に疑問を投げかけている。細胞にとって致死量に至らない低濃度有害物質を繰り返し摂取すると、その細胞は生き延びようと変則的な代謝経路を獲得して、癌のような異常な発育をする。即ち低濃度でも繰り返し暴露されると、かえってその生体に思わぬ悪影響を及ぼす可能性を示唆している。「安全量」なる人為的な概念の危うさを指摘している。

これまでのように野放図に散布された農薬の被害を如何に軽減させるかの手立てについては、薬剤散布の量のコントロール、散布対象を限定して被害を最小限にする“選択性スプレー”を普及させること、さらに合衆国農務省昆虫研究所・エドワード・クリプリングを中心として研究された「雄不妊化」のような生物学的コントロールなどを提唱した。

余談ですが小生の記憶ではこの「雄不妊化」による生物学的コントロール方法は確か約20年前後に、本県で“ウリミバエの駆除”で成功している事例が身近にある。

理路整然で実証的な内容の「沈黙の春」の反響は反公害運動、環境保護運動の火付け役になった。

しかし、その反面、当時業績を上げていた関連業界、関連の科学界、メディアなどから誹謗中傷は凄まじく、更には今以上に男性優位の社会情勢の中で、過酷な性差別的な攻撃にもさらされたと言われ

ている。

そのような困難な状況下、当時の合衆国大統領・ジョン・F・ケネディーはこの本の真価に気づき、大統領の科学諮問委員会を立上げ、農薬の使用制限が必要であるとの答申を得て、DDTの製造禁止、使用禁止などの答申が実行されたことになった。そのようなことで、危うく、カーソンの警告が葬られることはなかった。

人類の歴史に残るケネディー大統領の決断である。

映画「不都合な真実」で脱温暖化を訴えた当時の副大統領アル・ゴア氏は「この本がなければ環境保護運動は全く発展しなかったかもしれない」と、述懐したと言われている。

さて、国内において、昭和49年（1974年）10月から8ヶ月余にわたって、朝日新聞に連載された、小説家・有吉佐和子の「複合汚染」が反響を呼んだ。それは昭和54年（1979年）に614ページの本にまとめられた。有吉は「非色」、「恍惚の人」などの社会派作家として、今振り返ってみても先端的な執筆活動だったと高く評価される。

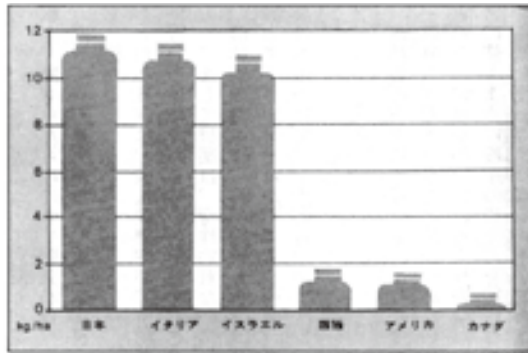


「複合汚染」は小説の形で話が進められているが、著者本人によると約10年かけて調べた環境汚染に関連した300点余に及ぶ資料、何十人かの専門家、関係官庁からの見聞を基にその本をまとめたと述べている。

本の前半にはレイチェル・カーソンの「沈黙の春」を引用し、米国に劣らず合成化学が薬品に汚染されている日本の現状、将来のことを憂慮して、環境問題に関わる関連業界、出版界、専門家の凄まじい反発を受けても、敢えて環境汚染問題を世間に知らしめていくことの必要性を強く訴えている。

世界的にも耕地面積あたりの農薬使用量はるかに高いと言われる日本の化学肥料、殺虫剤、除草剤、酪農の配合飼料、合成洗剤、PBC、排気ガスなどの

多岐にわたる問題を、小説の語り口で具体的に述べている。



農業汚染問題については、農業に従事者らと現場で直接接触して、その生の声を聴きながら現状を確認して、その切実さを盛んに訴えている。農業に従事する者の農薬による直接的な健康被害は消費者以上に深刻で、農業基盤の脆弱さにつながりかねないと危惧している。

業界の利益優先の対応、農協と農業を担う当事者との意識乖離、縦割り行政に加えて、関係する政治家、行政担当者らの農業政策についての展望のない理念の貧困さ、さらに、いまだに食料自給率30%台で主に米国からの輸入に全面依存しきっている危うさ、いびつさに本気に向き合おとしない彼らの姿勢に、日本の農業政策の脆弱さが見て取れる。



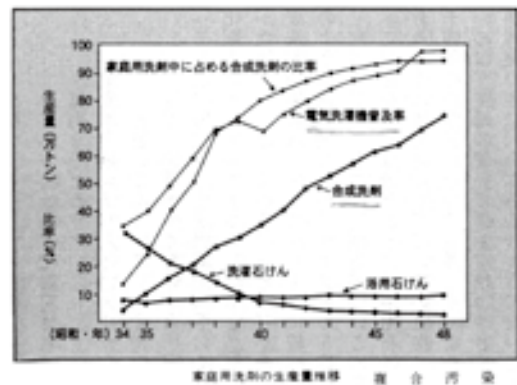
「複合汚染」が新聞連載された当時は熊本、新潟のメチル水銀汚染による「水俣病」、富山県のカドミウム汚染による「イタイイタイ病」、三重県の「四日市ぜんそく」、長崎・福岡・愛知県県など西日本の「カネミ油症事件」が社会問題化し、盛んに訴訟問題が噴出した時代背景があった。

当時、合成化学物質による環境問題が頻発した日本の状況を見て、環境関連の国際学会などで、「日本は動物実験の必要がないですね。すでに人体実験をやっている、人間がモルモットの代わりになって

いる。今や公害の先進国になっている」とブラックユーモアとも言うべき逸話が、まことしやかに囁かれたといわれている。

この狭い国土において、年間数百種類の合成化学物質が生産されている日本の空気、土地、河川、海は様々な形で汚染されて、人はじめ自然界の生物の体内に残留、体内濃縮されていると考えれば、あなたがち、このブラックユーモアは的はずれではない。

有吉が、さらに強く訴えているのは、昭和30年代後半辺りから、自動洗濯機の普及に伴って目覚ましく使用量が増えてきた人工合成洗剤、中性洗剤の問題点にも触れている。その手軽さ、泡切れの良さなどで、うなぎ上りに多く使用されたが、誤って飲み込んで死亡した事例などがあって、国会でも取り上げられ、大きな社会問題になった。



界面活性剤が含有されている事も相まって、皮膚からの浸透、体内蓄積などによる中枢神経系、肝臓への慢性的な影響などが問題になった。

石鹸を使用した時代に比べて、主婦の手の湿疹の発生頻度が高くなるなど目に見える障害を抱えながらも、今に至っても合成洗剤の広告は華やかで衰える気配はない。

さらに野菜、果物の洗浄に何の疑いもなく使用されていることもあって、ごく微量とは言え口から直接体内に取り込まれていく可能性を考えると、事は重大である。日本は農薬と同様に面積当たりの中性洗剤の使用量は世界的にトップになっているといわれている。

農地に比べ、中性洗剤が使用されている面積ははるかに広大で、その量たるや農薬の及ぶところではなく、人が住んでいる土地や河川、海に生活排水などを介して拡散、蓄積して、それは農薬の抱える問題に劣らず深刻である。

それに歯止めをかける、一つの手段として、自然界への影響がより少ない、生体に優しく、洗浄効果はむしろ合成洗剤に引けを取らないと再認識された石鹸の使用を、有吉はさかんに勧めている。

次に、PCB(polychlorinated biphenyl,ポリ塩化ビフェニール)が日本で生産開始したのは昭和29年(1954年)で、産業界の花形として量産されて、「カネミ油症事件」前後の昭和40年ごろには、生産開始当初の約20倍、年間約20倍の4000トンになった。

PCBは絶縁材として、変電設備のトランス、蛍光灯、テレビ洗濯機、冷蔵庫などの家庭用電化製品のコンデンサーや、化学工業、食品工業、合成樹脂工業の加熱・冷却剤として、さらに、塗料、複写紙として、ありとあらゆる所で使用され重宝された。

しかしながら、「カネミ油症事件」を契機に昭和46年(1971年)に生産中止となった。

PCBは皮膚の色素沈着、発癌性、免疫機能低下や関節の運動障害など多彩で、体内蓄積して胎児に移行する

生産中止後も暫くの間PCBは一部の工場で使用され、垂れ流しを続けたこともあって、沿岸の魚の汚染問題や人の母乳から検出されて大きな社会問題になった。

PCBは工場排水のみならず、焼却炉から大気を介して自然界に広く拡散して行き、DDT同様に生体内濃縮によって牛乳、鶏卵などから人の口に入る。

現在でも、既存の電気設備、器具機材、自然界の残留物、保管されたPCBの管理の不徹底など、未だに、その汚染問題が終息しているわけではない。

有吉は汚染物質の安全性に関する「目安」とか「許容量」なるものの科学的根拠のなさを、レイチェル・カーソンとは別の観点から言及している。

有吉は次のよう述べている。即ち「複合汚染」は学術用語である。二種類以上の毒性物質によって汚染されることをいい、二種類以上の物質の相加作用および相乗作用がおこることを前提としている。

わかりやすく言えば、排気ガスで汚染された空気を呼吸し、農薬で汚染されたご飯と、多分農薬を使っているが、どんな農薬を使っているのかまるで分からない輸入の小麦と輸入の大豆で作った味噌に、防腐剤いりの調味料をいれて味噌汁を作り、着色料の入った佃煮を食べ、米と別種の農薬がふりか

けられている野菜、殺虫剤と着色料の入った日本茶。という工合に、私たちが日常、口と鼻から舐めの中に入れる化学物質の数は、食品添加物だけでも一日に八十種類といわれる・・・。

この八十種類の一つ一つについては、極めて微量であるし、厚生省も農林省も責任をもって安全を保証している毒性物質であるから何も心配することはない、ということになっている。

八十という数字は足し算にしたものである。これが相加作用と呼ばれている。ところで、この八十が掛け算になったらどうなるか。これが相乗作用と呼ばれるもので“複合汚染”といえちのほうを指していると思ってい」と。

一つ一つはごく微量であっても、複数の物質が混ざり合うと、それらの物質どうしの反応や、空気、水、紫外線、酸、酵素などを媒体として新たな物質に変化し、一種類である場合の数倍、又はそれ以上の強力な作用を生物に及ぼす恐れがある事は、科学的にも否定できない。「目安」、「許容量」という言葉の危うさが改めて指摘されているが、いまだに食品添加物などで日常的に使われているのが気になって仕方がない。

話変わって、カネミ油症事件を契機に製造禁止になったPCBや、米国ですでに製造禁止になったDDTなどについて、1998年に水産庁が日本近海から南極、北極にかけて調査したところ、その残留が確認された。その地域に生息する、イルカ、アザラシ、クジラ、白熊、更にはイヌイットの脂肪から検出され、あの製造中止から30年以上経過しても、なお地球規模に拡散、残留している事が判明した。

実際のところPCBは既存の設備、器具機材に残った状態で使用されており、さらにDDTは依然として、一部の発展途上国で使用されていると言われている。

それに加えて、ダイオキシンの環境への問題が取りざたされるようになってきた。

ダイオキシンは除草剤・枯葉剤に含まれていて、青酸ナトリウム以上に猛毒性があると言われている。それはプラスチック、有機塩素系の顔料・塗料の付いたカーテン、壁紙建材、さらにはPCBの焼却の際に発生すると言われている。ベトナム戦争時に使用された枯葉剤に含まれていて、後々問題になった。



ゴミ焼却炉からの拡散は1983年（昭和58年）日本でも確認されて、PCB同様にダイオキシンの汚染問題が浮上した。他国に比べてゴミ焼却炉の多い日本では、ダイオキシンはより広い範囲に拡散している恐れがある。

製紙工場の排水路から、また、野焼き、森林火災などでも発生が確認されて、空気・雨などを介して、地中、河川、海など自然界に拡散・浸透している。

ダイオキシンは催奇性、非ホジキンリンパ腫、免疫機能や生殖機能障害などの発症に関係すると言われている。



環境省 環境政策課

さらに近年爆発的に使用されている化石燃料・原油を原料にした人工合成樹脂（以下、プラスチック）がレイチェル・カーソン、有吉



の時代の環境汚染問題に層を重ねるように、浮上して来た。

プラスチックの歴史は古いが、それが実用化されてきたのは、やはり戦争の落とし子、金属の代替として軍需産業の延長線上にあると言われている。一説によると1950年代に世界で約200万トン生産され、当時はナイロン、セルロイドとして使用された。それが2017年には、83億トンになって、当時の8300倍に増加したと言われる。時代とともに幾何級数的に増加して、とどまることを知らない。

さまざまな硬さ、形に加工して食器、包装、衣料品、玩具、工作、建造物など応用範囲が広く、軽く

て、丈夫で、長持ちする手軽さなど、今ではプラスチックは生活には欠かせない。

その便利さから次々と新しい製品が生まれて、夢のプラスチックとして、もてはやされてきた。

このままでは、日本ではそのリサイクル率が僅か15、6%台で、今後も天井知らずに増え続けていくと予想されて、恐怖さえ覚える。

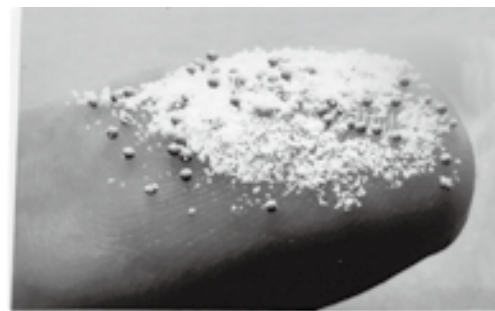
自然界に廃棄・放置されたプラスチックは、腐敗・分解することなく、残留して、地球上に蓄積されていく。



細分化された、さまざまなプラスチック

“ごみ”として地上海上問わず際限なく増え続けて、様々な形で地球上にあふれかえっている。

廃棄されて時間とともにより細分化されて、土、河川、海底に沈殿・埋入し、さらに摩擦、紫外線などによって、微細なマイクロビーズ、さらにより微細なナノプラスチックの形となって地中、海中で拡散、蓄積し、中には空中を漂って拡散しているのが確認された。地球規模の環境汚染が止める術がないままに、自然界に限なく、様々な形で蓄積していく。



この写真は、微細なプラスチック（マイクロプラスチック）を多く含む汚染土。肉眼では見えないが、顕微鏡で拡大すると、プラスチックの粒子が数多く見られる。

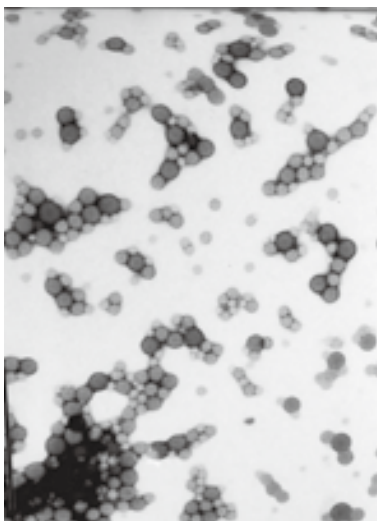
また、スクラブ洗顔料、マスカラ、口紅、練り歯磨きなどには、微細に加工されたプラスチックのマイクロビーズを含有した製品が一部にあって、生活排水などを經由して拡散している。

また、合成繊維製の衣類を洗濯機によって洗濯するとマイクロファイバーが放出されるといわれている。

そのような微細なプラスチックを野生動物、魚貝

類が餌と一緒に飲み込み、また餌と勘違いしてプラスチックその物を食してしまうことがある。それらを生体内で消化のできない生き物の生命、健康を脅かす恐れがあるのみならず、食物連鎖の頂点にある人の体に最終的に取り込まれていく事は否定できず、大きな問題になっている。

ナノミクロン、ミクロン単位のプラスチック・ビーズが生体内に取り込まれると、毛細血管を通過して臓器に浸透していく可能性が指摘されている。生体内に取り込まれたプラスチックは臓器に蓄積して、思いもよらない障害を引き起こす恐れは十分にあり得る。



より細粒化した、ミクロン単位以下のマイクロビーズ

ここにきて、プラスチックには非常に深刻な化学物質を含有していることが確認されて、新たな課題が浮上してきた。

プラスチック素材の硬さなどの材質の調整等のために、ニノフェノール、ビスフェノールなどの可塑剤が使用されているが、さまざまに生体に影響を与える研究報告がなされ注目されている。

1989年、ボストン、タフツ大学のアナ・ソト、ソネンシャインらが女性ホルモン・エストロゲンと癌発生の関係性の研究中、対照としてエストロゲンを加えてないサンプルから女性ホルモン・エストロゲンに類似した物質が偶然に検出された。詳しく調べてみると、それはプラスチック製の試験管そのものから溶出している化学物質であると確認されて、最終的にそれがプラスチックの可塑剤の一つP・ニノフェノールであることが判明した。

彼女らは試験管の中で見つけた化学物質・ニノフェノールラットを使って実験してみた。

卵巣のないメスのラットに、このニノフェノールを注射したところ子宮内膜が細胞増殖を起こした。

この細胞増殖はエストロゲンを投与した時と同じ反応で、このことからニノフェノールをエストロゲ

ン類似物質だと位置づけた。

奇妙な偶然の一致というべきか、アナ・ソト、ソネンシャインとほぼ同じころ、スタンフォード大学・医学部でも同じような問題が起きた。こちらで抽出された化学物質はやはりプラスチックの可塑剤ビスフェノールAで、同じくエストロゲン類似物質だった。

これらの事は、シーア・コルボー

ン他「奪われし未来」に詳細に記述されている。

1990年代、米国を含む西欧諸国では、工業用洗浄剤、殺虫剤、化粧品、合成洗剤などの合成化学物質の中には、それ自体にエストロゲン様の作用があるわけではないが、動物の体や、環境、下水処理場に棲みついている細菌によって、それらの物質が分解されるとニノフェノールなどのエストロゲン類似化学物質ができることが分かっていた。

このことは、アナ・ソトラがエストロゲン類似物質を特定した時よりも以前から既にエストロゲン類似物質そのものは、地球上に広く存在していたことになる。

さらにはプラスチックなどに加えて、魚、コーヒー、紅茶など、缶のコーティング剤からビスフェノールAが食品中に移行していることも判明して、いよいよ地球上至る所にエストロゲン類似物質は拡散していることがうかがえる。

翻って、1938年、英国においてエドワード・リチャード・ドッズらによって合成エストロゲン・DES（ジエチール・スチル・ベストロール）の合成に成功し、当時の医療界では無限応用価値のある奇跡の薬物として称賛され、流産の予防、更年期障害の治療薬など、として臨床に取り入れられてきた。

しかしながら、症例が増えるにつれて、そのホルモン服用の母親から生まれた子供に性器の異常、癌、精子異常、免疫機能障害などの報告がなされる



ようになってきた。

奇しくも、時を同じ頃、米国、ノースウエスタン大学医学部・研究チームは次のような警告を発した。

即ち「エストロゲンは正常範囲では胎児の正常発育を促すが、体外からエストロゲンを加えると、生体のホルモン機構が攪乱されて、予期しない障害を誘発される可能性がある」と。

その他にも、他の施設から合成エストロゲンに起因すると思われる症例の報告が出されたが、1990年代に至るまで医療界、製薬会社は正面から対応することはなかった。

その様な状況下、アナ・ソトラによって、合成化学物質由来のホルモン作用機序を有するエストロゲン類似物質が特定されたことを契機に、シロイルカ、ワニ、ワシ、マスなどの野生動物の生殖異常即ち精子数の減少、精子の異形、甲状腺機能不全、免疫機能低下などの症状とエストロゲン類似との関係を示唆する事例報告が次第に増加してきた。

「沈黙の春」を書いたレイチェル・カーソン、は農薬の危険性に的を絞りに、合成化学物質を憂えていた。

それまでは、合成洗剤、化粧品、プラスチックなどの合成化学物質は不活性で、物性的安定性が高いとされていたことから、エストロゲン類似物質のような全く未知の物質が合成化学物質から生ずるとは、予想だにしないだけで、アナ・ソトラの発見は合成化学物質の研究の歴史でも屈指の驚きであったとされている。

それまでは環境汚染の生体の関連する研究は癌などの悪性腫瘍、染色体異常などが主であったが、新たに判明したエストロゲン類似物質と畸形、不妊、異常行動などの多岐にわたる関連性が確認されるようになって、その研究範囲が拡大された。

そのようなエストロゲン類似物質はナノグラム以下の微量（ppm、ppb）でもその組み合わせによって、一気に細胞に対して反応が出ることも判明している。

さらに、その物質を取り込んだ母体にはほとんど影響を認められなかったケースでも、取り込まれた時期に応じて胎児に移行して、それに相当した障害が発生するといわれている。

エストロゲン類似物質は、ホワイトハウス、米国

環境保護庁(EPA)など主催の内分泌攪乱物質問題に関する世界各国の取り組みを話し合う「スミソニアン会議」において「内分泌攪乱化学物質（endocrine disrupting chemical）」と名付けられた。通称、「環境ホルモン（environmental hormone）」と一般的には呼ばれている。

それは「生体のホメオスタシス、生殖、発生、あるいは行動に關与する種々の生体内ホルモンの作用などを阻害する外来性の物質」と定義づけられ、生体に対して幅広く影響を及ぼす物質である。

1990年代、すでに米国のみならず、イギリス、デンマークでも同時多発的に研究報告され、日本でも関心が高まって、1998年に「日本内分泌攪乱化学物質学会（通称環境ホルモン学会）」が環境庁の後押しなどを得て発足して、研究者、関連業界、行政が一体となって活動している。

現在判明している「内分泌攪乱化学物質」の一覧表を示します。

| 内分泌攪乱化学物質とその用途・概略                      |                                    |
|--|------------------------------------|
| 内分泌攪乱化学物質                              | 用途・概略                              |
| PCB                                    | 電機絶縁体、展着剤、熱媒体<br>1972年製造・使用禁止      |
| ダイオキシン                                 | 除草剤中の副生成物<br>ごみ焼却炉や製紙工場より排出        |
| DDT                                    | 殺虫剤 1981年製造・輸入禁止                   |
| ディルドリン                                 | マツタイ虫・シロアリ駆除剤 1981年使用禁止            |
| アルキルフェノール(ノニルフェノール、4-tert-オクチルフェノールなど) | 非イオン性界面活性剤の原料、工業用洗剤、分散剤、プラスチックの添加剤 |
| ビスフェノールA                               | ポリカーボネート樹脂の原料、食器、哺乳びん              |
| 有機スズ(トリブチルスズなど)                        | 船底、養殖用漁網塗料<br>1997年国内では生産中止        |
| フタル酸エステル                               | プラスチック(塩化ビニルなど)、合成ゴムなどの可塑剤         |

人と環境の化学

内分泌攪乱化学物質の生体への影響について、まとめてみると以下ようになる。

これまでに、断片的に事例を挙げたが「内分泌攪乱化学物質」の野生動物への影響は生殖能力の低下の報告が主になっている。

例えば、米国、フロリダ州のアポプカ湖のワニの卵の孵化率が著しく低下し、孵化しても半数が死亡した。オスワニのペニスが高小化して生殖能力がなくなっていた。これは近くの化学工場から流出したDDT近縁の殺虫剤によって損なわれたとされた。そのほかに、鳥類、魚類などの類似の事例が報告されている。

日本ではオスのコイがメス化した事例があり、その河川・多摩川では、ニノフェノール濃度が高くなっていった事などから、その影響が疑われた。

その他、オスの生殖能力低下、オスとメスの両性具有などの報告がヨーロッパからあった。

<sup>ひるがえ</sup>翻って人に対する「内分泌攪乱化学物質」の影響については、関連が疑われた健康障害は以下のようになっている。紙面の都合で項目のみ列記する。

- 1) 精子数の減少、精子運動能力の低下、精子畸形
- 2) 精巣がん、矮小ペニスなど外部生殖器発育不全
- 3) 子宮内膜症、不妊症、女児の思春期の低年齢化
- 4) 行動異常、学習障害、発達障害など、中枢神経障害
- 5) アレルギー、アトピー など

このように、生殖障害から、発達障害、アレルギー、と多岐にわたる健康障害があげられている。

繰り返しになるが、これらの健康障害と内分泌攪乱科学物との関係性については、多くの研究機関からの具体的な事例などから、その蓋然性は科学的に高いと、評価されている。

しかしながら、内分泌攪乱化学物質がナノグラム単位以下の著しく微量であり、その検出の困難性、人の実験ができない、症状が多彩でその複雑性などから、まだ全てに確証が取れているわけではない。

今後の動物実験、人の実証例の積み重ね、測定技術の進展など、更なる研究を見守っていく必要がある。

合成化学物質の環境汚染問題については、立場により異論があつて、混乱している面も依然残されている事は否めない。

ここに挙げた本、「環境危機は作り話か」に、いろいろ具体例が取り上げられ、環境汚染問題を裏、表の両面から論じられていて、より深く環境問題を理解するのに、恰好な本である。

更に、避けては通れない、合成化学物質による環境汚染問題以外の環境破壊が山積している。

次に、その項目を挙げてみたが、それらは相互に影響し合い、複合化していく。



\*排気ガス等大気汚染による地球温暖化；

自動車、工場、火力発電所等からの排気ガスが原因の地球温暖化で世界規模の猛暑、洪水、森林火災が多発。

\*農地、道路、牧場等の為の森林破壊に伴うCO<sub>2</sub>蓄積；  
焼畑農業、牧場目的のアマゾン、パーム油採取のためインドネシア等の熱帯雨林破壊、各地の森林火災等による。

\*原子力発電等からの放射性物質による土地、河川、海洋、大気汚染；

各地の原子力発電所からの処理水の海洋への廃棄、チェルノブイリ、福島第一原子力発電爆発事故の放射能汚染の持続。

\*オゾン層破壊による有害紫外線暴露；

フロンガス等の規制後も速度は緩やかになったが、進行中。

\*その他・・・飛行機、工場、工事等による爆音・騒音・粉塵・異臭 等々

この事態に対して、国内では政府の一貫性のない環境政策、国際的には環境問題関連の国際会議の形骸化など、国際政治的・経済的な利害関係から、実効性のある策定が見出せないのが現状で、八方塞がりの状態に陥っている。

さて、気が付いてみると人類はここまで来てしまった。

第二次世界大戦後、戦争の“落とし子”として、生み出された合成化学物質は生産・経済活動に多大に益し、利便性、効率性を重視した“経済優先の人類の進歩”に大きく貢献した。

他方、EcologyよりEconomyと、経済を優先に進進して、いつの間にか自然界を忘れてしまった結果、合成化学物質による環境汚染は、僅か70年余の間に地球上限なく拡散して蓄積してしまった。

合成化学物質、さらに、その中に潜む内分泌攪乱化学物質は「食物連鎖」を経ながら「生体濃縮」して、人の体までたどり着き、取り込まれ蓄積していく。これまでは稀とされた症状が、いつの間にか当たり前に目につくようになって、生態系の異変に気付きはじめた。

そして、冒頭のNHK・BSのドキュメンタリーは次の様なエピソードで締めくくった。

“人類みずから引き起こしてしまった地球規模の環境汚染は、人類の歴史上、誰も経験したことがなく、それに歯止めをかける術が見いだせないままに、右往左往している。

これから、地球はどこに向かっているか、そしてどうなるのか？それは誰も知らない・・・

「人類は試験管の中のモルモットだ。We guinea pig.」 将に今、「人類は試されている」。

これは決して絵空事ではない。ここまで来てしまっ、もう引き返すことも出来ない”。と・・・

終わりに；

この地球のあり様<sup>よう</sup>について、国連事務総長、アントニオ・グテーレスは「地球温暖化は終わって地球沸騰の時代が到来した」、さらに激しく「地球は破滅に向かって突き進んでいる」と、機会あるごとに警告している。

この地球規模の困難な事態を考えると、人類は、よもや“戦争している場合ではない”はずだが・・・。

同時に、今、戦場となっているウクライナに於いて、37年前に起きた原子力発電爆発事故を告発した“チェルノブイリの祈り”（スベトラーナ・アレクシエビッチ）は決して、遠い過去の話ではない。

一方で、スウェーデンの活動家、グレタ・トゥーンベリは、地球規模の環境汚染問題にいたたまれず、必死になって若い世代を代弁し、発信続けている…。

**The eyes of all future generations are upon you. And if you choose to fail us,I say “we will never forgive you.”**

（若い世代はあなた達を注視しています。私たち、若い世代に背を向けるような事をしたら、「あなた達を絶対に許しません」）。

近い将来に、負の遺産・環境問題の当事者となる若い世代の悲痛な訴えである。

地球環境は人類にとって言うに及ばず、生きとし生きる全ての生命存亡の<sup>よ</sup>拠り所である。

了

環境汚染について、「まずは、知ることから始めよう」と意気込んで始めてみたが、環境汚染問題の内容の膨大さ、複雑さに難渋した。改めて小生の

力量の限界を、痛感させられる結果になった。

粗雑で、舌足らずな内容になってしまった事を反省しています。

この拙文が環境汚染、環境破壊の現況に思いを馳せ、併せてSDGsの理念を再認識する機会になるように念じています。

誤った語彙、事項、不適切な表現が多々あろうかと危惧しています。ご教示頂けたら有難いです。

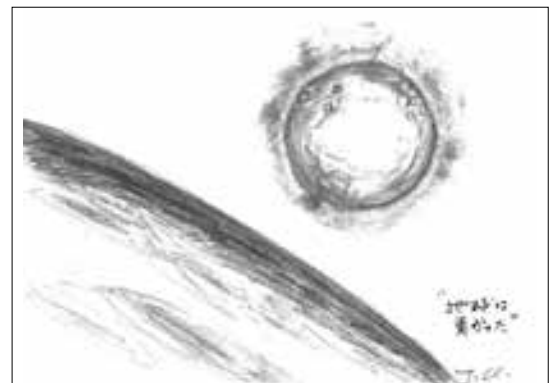
最後まで、辛抱強くお目通し頂き、有難うございました。

貴重な紙面を使って、このような機会を与えて頂き、助言を下さいました担当理事・平良和枝先生、編集委員の先生方に感謝申し上げます。

レイアウト、諸手続きのなどでご協力頂いた、事務局・上江田 浩明さん、有難うございました。

#### 参考資料

- \*沈黙の春、レイチェル・カーソン、青木 築一訳(新潮文庫)
- \*複合汚染、有吉佐和子(新潮文庫)
- \*奪われし未来、シーア・コルボーン他、長尾 力 訳(翔泳社)
- \*生命と環境の化学、三浦 洋四郎(八千代出版)
- \*プラスチック・スープの地球、PLASTIC SOUP、ミヒル・ロスカム・アビング、藤原 幸一 訳(ポプラ社)
- \*好きになる分子生物学、多田 富雄(講談社)
- \*文藝春秋「日本の食が危ない」、2023, 4月号、鈴木 宣弘(文藝春秋社)
- \*日本はなぜ「基地」と「原発」を止められないのか、矢部 浩治(集英社インターナショナル)
- \*日本型リーダーはなぜ失敗するか、半藤 一利(文春新書)
- \*原発事故をよく知るための本、青木 高志(牧歌舎)
- \*チェルノブイリの祈り、スベトラーナ・アレクシエビッチ、松本 妙子訳(岩波書店)
- \*その他、朝日新聞、沖縄タイムス、琉球新報など



# 会員プロフィール

- ①氏名(ふりがな) ⑤医院の特徴・PR  
 ②生年月日 ⑥趣味・マイブーム・自己紹介  
 ③出身大学・卒業年度 ⑦家族構成・ペット等  
 ④歯科医院名・所在地 ⑧県歯科医師会に望むこと



- ①牧 野 秀 樹  
 ②1961年10月19日  
 ③東北歯科大学(現・奥羽大学)  
 歯学部 昭和62年3月卒

- ④つがやす歯科こども歯科  
 うるま市喜屋武384-3  
 きゃんメディカルプラザ2階  
 ⑤小児歯科(予防)を中心に、歯科訪問診療、障がい児者歯科診療、摂食嚥下リハビリテーションも行っていきます。メディカルプラザ内の発達クリニック(小児科)、脳神経外科・循環器内科、消化器内科、調剤薬局、中部・南部地区拠点病院などと日頃から密に連携し地域の皆様に安心して通院していただけるように環境整備に努めています。

- ⑥大学卒業後、北海道札幌市・旭川市・帯広市で勤務医として診療していました。約11年前から、柗安秀樹先生(北海道帯広市開業)に御縁をいただき、うるま市を中心に歯科訪問診療・障がい児者歯科診療・摂食嚥下リハビリテーションに携わっておりました。この度5月開業の「つがやす歯科こども歯科」(康本征史院長)に勤務させていただくことになりました、どうぞよろしくお願いいたします。趣味は音楽・映画鑑賞、スポーツです。中型自動二輪・一級小型船舶操縦免許も所持していますので、今後はマリンスポーツを中心に歳相応に無理なく沖縄を満喫したいと思っています。  
 ⑦妻とキャバリアが札幌市、長女が東京都、私が沖縄、それぞれ羽を伸ばし自由に生活しています。  
 ⑧県歯科医師会役員並びに会員の皆様と協力し、地域医療・介護・福祉・生活の場でお役に立てるように頑張りますので、今後ともご指導よろしくお願いいたします。



- ①荒 川 彩  
 ②1985年5月23日  
 ③日本歯科大学

- ④あらかわデンタルクリニック  
 中城村南上原448-1-1F  
 ⑤キッズスペースやおむつ交換台、ファミリールームには天井モニターも完備しており、小さなお子様連れの方でも安心な、ご家族で通っていただきやすい体制を整えております。

- ⑥令和5年7月に中城村南上原にてあらかわデンタルクリニックを開業いたしました。  
 4人の子供の子育て中で、大型犬も一緒に暮らしております。  
 ⑦夫、子供4人(7歳、5歳、3歳、0歳)、犬(オーストラリアンラブドゥードル)  
 ⑧沖縄県の歯科公衆衛生に貢献できるよう、精一杯がんばりたいと思います。  
 ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆新職員紹介☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



金城 優

令和5年4月に入職し、事務局から衛生士学校勤務と、早や3か月を経過しました。

私は金融機関に30年余勤め、この度本会に入職しました。また異業種からの転身であり戸惑いもありますが、皆さんの指導・助言を受けながら、日々の業務に携わっております。

これまでの経験、知識を活かし、沖縄県歯科医師会に微力ながら貢献できるよう努めて参ります。

今後のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

ハラスメント研修会報告

専務理事 屋 嘉 智 彦

令和5年9月10日、第1回臨時代議員会終了後の12:30よりハラスメント研修会を行った。参加者は執行部役員と職員計35名であった。米須会長の挨拶の後、役員・職員の順に自己紹介を行い、全員で食事をしながら以下の職場のハラスメントの啓発動画5本を試聴した。

- ①周囲の人がハラスメントに気づいて止める  
「見て見ぬふり」やめて行動を!
- ②SNSで起きたセクシュアルハラスメント
- ③仕事の上で叱るとき、どのように叱ればいい  
でしょう? ①アウト!レベル

- ④同                   ②セーフレベル
- ⑤同                   ③上級レベル

動画視聴の後、意見交換を行い、渡慶次副会長の挨拶で閉会した。

個人事業主でスタッフを抱える我々役員にとっても役立つ会であった。またコロナ禍以降、役員と職員との懇親の場がなく、新執行部も理事が5名・監事が2名入れ替わったこともあり、職員との顔合わせのいい機会となった。1時間程度の会であったが、今後は職員との懇親の機会をさらに設けていきたいと考えている。



# 理事会報告

■ 令和5年度 第4回定時理事会（通算9回）令和5年8月8日（火） 午後12時45分 口腔保健医療センター

## I. 承認事項

1. 第55回沖縄県公衆衛生大会の開催に伴う後援名義使用依頼について

## II. 議事事項

- 第1号議案 健康づくり支援事業「リーダー養成講習会」における講師推薦依頼に関する件  
 第2号議案 「第34回西日本臨床小児口腔外科学会 総会・学術大会」のシンポジスト推薦依頼に関する件  
 第3号議案 臨床実習施設の新規登録並びに変更の認可に関する件

## III. 協議事項

特に無し

## IV. 報告事項

1. 令和5年度第1回沖縄県医療提供体制協議会「在宅医療部会」出席報告
2. 第1回定例監査報告
3. 日本歯科医師会第1回広報委員会出席報告
4. 令和5年度第1回沖縄産業保健総合支援センター運営協議会参加報告
5. 小規模県歯科医師会役員懇話会要望書・回答について
6. 「令和5年度ACC e-learning」受講案内について
7. 第62回全日本学校歯科保健優良校表彰の第一次診査について
8. 歯科保健事業功労者の表彰について
9. 台風6号の影響等による医薬品、医療機器等の適切な購入について
10. 委員会報告
  - ①学術

## V. その他

1. 令和5年度第1回沖縄県医療保健連合（なごみ会）幹事会協議題について
2. 令和5年度「中国・四国」「九州」地区歯科医師会役員連絡協議会について
3. 会立以外の歯科衛生士学校への協力体制について
4. 針刺し事故対応マニュアル（県立宮古病院・宮古地区歯科医師会）について
5. 災害補償・備蓄について
6. 令和6年度地域医療介護総合確保基金事業（在宅歯科人材育成支援事業歯科医療従事者技術向上支援事業、歯科衛生士復職支援事業）について
7. 各種委員会委員について
8. 沖縄プラント歯科健診について
9. 沖縄県歯科医師会災害医療救護対策本部の設置について

■ 令和5年度 第5回定時理事会（通算10回）令和5年8月22日（火） 午後8時 口腔保健医療センター

## I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会災害共済金給付申請について
2. 沖縄県歯科医師会会員（第2種会員）の入会について
3. 令和5年度「薬と健康の週間」の後援名義使用について



## II. 議事事項

- 第1号議案 税理士顧問報酬改定依頼に関する件
- 第2号議案 「その瞬間（とき）に備える医療救護セミナー」後援（大塚製薬工場）に関する件
- 第3号議案 公益社団法人日本学校歯科医会「臨時委員会2（特定地域における学校歯科保健推進の検討）」医院派遣に関する件

## III. 協議事項

- 1. 職員給与の級・号級の内規改正について

## IV. 報告事項

- 1. 令和5年度第1回沖縄県高齢者福祉対策推進協議会出席報告
- 2. 令和5年度第1回障害者歯科アクティブネットワーク九州幹事会出席報告
- 3. 令和5年度歯科衛生士専任教員講習会I出席報告
- 4. 委員会報告
  - ①センター           ②学校           ③地域保健
  - ④学校歯科           ⑤調査広報

## V. その他

- 1. 口腔保健医療センター受診状況について
- 2. 沖縄県歯科医師会会員（第3種会員）の入会について
- 3. 閉院会員の非会員診療所勤務の扱いについて
- 4. 台風6号被害状況について
- 5. 学校電話設備更新工事について
- 6. 九州各県歯科医師会広報担当者協議会協議会回答について
- 7. 歯科衛生士の求人（会員提案）について

## ■ 令和5年度 第6回定時理事会（通算11回）令和5年9月12日（火）午後12時45分 口腔保健医療センター

### I. 承認事項

- 1. 沖縄県歯科医師会災害共済金給付申請について
- 2. 沖縄県歯科医師会会員（第3種会員）の入会について
- 3. 沖縄県歯科医師会会員（第1種会員）の退会について
- 4. 沖縄県歯科医師会廃疾共済金給付申請について
- 5. 令和5年度沖縄県結核予防週間の後援について
- 6. 令和5年度沖縄県臓器移植普及推進月間における後援について
- 7. 職員の休職延長について

### II. 議事事項

- 第1号議案 日本歯周病学会と沖縄県歯科医師会の共催による臨床研修会開催依頼に関する件
- 第2号議案 沖縄県手をつなぐ育成会チャリティーゴルフ大会参加協力寄付金および商品等の寄贈依頼に関する件
- 第3号議案 令和5年度日本歯科医師会会員有功章授章候補者の推薦に関する件

### III. 協議事項

- 1. 商品仕入れ価格値上げによるカルテ等の販売価格の変更について

### IV. 報告事項

- 1. 令和5年度医的ケア見ワーキングコーディネーター部会参加報告
- 2. 第1回教育課程編成会議開催報告

3. 令和5年度歯科衛生士専任教員講習会Ⅲ受講報告
4. 令和5年度医療従事者技術向上支援研修会開催報告
5. 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会出席報告
6. 加入者に向けた「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」の送付等について
7. 令和5年度おきなわアジェンダ21県民環境フェアinなは出典団体募集のお知らせについて
8. 令和5年度医療施設静態調査、患者調査及び受療行動調査に関する協力方依頼について
9. 委員会報告
  - ①保険
  - ②学術
  - ③医療管理・医業経営

## V. その他

1. センター受診状況について
2. 令和5年度障がい児（者）口腔ケア事業研修会の講師派遣について
3. 令和5年度九州各県医療管理担当者会提出協議題回答について
4. 令和5年度九州各県医療安全対策担当者会提出協議題回答について
5. 理事並びに各委員会紹介のページ作成について
6. 歯科衛生士学校電話設備リースについて

## ■ 令和5年度 第7回定時理事会（通算12回）令和5年9月26日（火）午後8時 口腔保健医療センター

### I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員（第1種・第3種）の入会について
2. 沖縄県歯科医師会会員（第3種）の退会について
3. ピンクリボン沖縄2023の後援依頼について
4. 「いい歯の日」イベント開催のチラシ配布の協力依頼について

### II. 議事事項

- 第1号議案 第2回歯がんじゅうデジタルフォトコンテスト選定委員の推薦・就任に関する件  
 第2号議案 商品仕入れ価格値上げによるカルテ等の販売価格変更に関する件

### III. 協議事項

1. 沖縄県歯科保健功労賞について
2. 音声認識ソフトについて
3. 退学希望の学生の学納金について

### IV. 報告事項

1. 令和5年度第1回九州各県歯科医師会専務理事会出席報告
2. 全国歯科衛生士教育協議会九州地区会出席報告
3. 第3回沖縄県立学校保健理事会出席報告
4. 令和5年度九州地区学校歯科医役員連絡協議会出席報告
5. 令和5年度特定保険医療材料価格調査の実施について
6. 第62回全日本学校歯科保健優良校表彰について
7. 歯科医療機関経営における電気代等物価高騰調査の実施について
8. 歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業の参加登録および事例収集の開始について
9. 令和5年秋以降の新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬・施設基準等に関する臨時的な取扱いについて
10. 「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ！いのちまもる10.19総行動」へのメッセージのお願いについて
11. 令和5年度沖縄県結核予防週間実施要領の送付について
12. 「第19回在宅医療推進フォーラム」の案内について
13. ヤクルト本社東日本支店による歯科啓発チラシ（第13弾）について

14. 「令和5年度高年齢者雇用支援セミナー」の開催について
15. 日本糖尿病協会登録歯科医認定テキスト改定版送付の案内について
16. 委員会報告
  - ①学校
  - ②調査広報
  - ③地域保健
  - ④センター
  - ⑤学術
  - ⑥医療管理・医業経営

#### V. その他

1. センターの診療状況について
2. 職員の退職について
3. 新年会について
4. 永年表彰について
5. 令和5年度沖縄県・沖縄県歯科医師会連絡会議について
6. 沖縄県警察本部との意見交換会について
7. 第10回県民健康フェア担当について
8. 第41回日本障害者歯科学会総会および学術大会のタイムスケジュール業務分担について

### ■ 令和5年度 第8回定時理事会（通算13回）令和5年10月10日（火）午後12時45分 口腔保健医療センター

#### I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員（第3種）の入会について
2. 沖縄県歯科医師会共済会災害共済金給付申請について
3. 沖縄県歯科医師会共済会疾病共済金給付申請について
4. 職員の採用について

#### II. 議事事項

- 第1号議案 令和5年度沖縄県医事功労者知事表彰候補者の推薦に関する件
- 第2号議案 第57回沖縄県母子保健大会における大会長表彰候補者の推薦に関する件
- 第3号議案 第57回沖縄県母子保健大会県知事表彰候補者の推薦に関する件
- 第4号議案 沖縄県学校保健功労者表彰の推薦に関する件
- 第5号議案 令和5年度第2回臨時代議員会開催日に関する件
- 第6号議案 第41回日本障害者歯科学会実行委員会委員に関する件
- 第7号議案 沖縄県歯科医師会推奨商品への選定申請書（株式会社ロッテ）に関する件
- 第8号議案 高等学校における健診料の値上げに関する件
- 第9号議案 地域保健委員会オブザーバーの増員に関する件

#### III. 協議事項

特に無し

#### IV. 報告事項

1. 第3回多職種連携協議会出席報告
2. 県医療提供体制協議会令和5年度第1回へき地医療部会出席報告
3. 県医療提供体制協議会令和5年度第2回へき地医療部会出席報告
4. 令和5年度沖縄県総合防災訓練第2回全体会議出席報告
5. 第2回定例監査報告
6. 令和5年度第2回沖縄県保険者協議会出席報告
7. 令和5年度九州各県事務局研修会出席報告
8. 令和5年度文部科学大臣表彰の被表彰者について
9. 「保険でより良い歯科医療を求める10.26秋の歯科決起集会（Web併用）」臨席・挨拶のお願いについて
10. 令和5年度歯科技工料調査への協力依頼について

11. 令和5年度沖縄県青少年育成者研修会への参加について
12. 「歯と口の健康シンポジウム2023」オンライン開催のお知らせとお願いについて
13. 委員会報告
  - ①学校歯科
  - ②地域保健
  - ③調査広報

#### V. その他

1. センターの診療状況について
2. 令和5年度沖縄県・沖縄県歯科医師会連絡会議について
3. 電気料金の見直しについて
4. 8020推進財団会誌「8020」第23号の取材協力について
5. 九州地区連合歯科医師会の組織、事業、機能等の見直しについてのアンケートについて
6. 日本歯周病学会と沖縄県歯科医師会の共催による臨床研修会開催依頼について

### ■ 令和5年度 第9回定時理事会（通算14回）令和5年10月24日（火）午後8時 口腔保健医療センター

#### I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会会員（第1種）の入会について
2. 第57回沖縄県母子保健大会の後援依頼について
3. デンタルフェアの共催について

#### II. 議事事項

- 第1号議案沖縄県薬事審議会委員の推薦に関する件  
 第2号議案沖縄県国民健康保険診療報酬診査委員会委員の推薦に関する件  
 第3号議案沖縄県歯科医師会会費減額申請に関する件  
 第4号議案学納金分納書類に関する件

#### III. 協議事項

1. 学校歯科健康診断における「歯列・咬合の判定2」の児童・生徒に対する事後措置の保護者説明文について
2. 新聞記事（コラム含）など広報誌転用掲載について
3. ホームページ掲載の取り決め・刷新について

#### IV. 報告事項

1. 日本学校歯科医会臨時委員会出席報告
2. 令和5年度九州各県社保担当者会出席報告
3. 令和5年度第2回沖縄県歯科SUN会議小委員会開催報告
4. 第23回沖縄県健康教育研究大会の開催について
5. 第55回沖縄県公衆衛生大会における県知事表彰について
6. 第81回全国小学生歯みがき大会参加小学校募集についての協力願いについて
7. 第2回「歯がんにじゅうデジタルフォトコンテスト」選定結果について
8. 医療機関における一部負担金のキャッシュレス支払について
9. 令和5年度共同募金への協力方について
10. 日歯生涯研修事業「Eシステム」研修会新規登録方法の変更について
11. 委員会報告

- ①保険
- ②調査広報
- ③学校
- ④学校教務
- ⑤学術
- ⑥センター

#### V. その他

1. センターの診療状況について

2. 令和5年度「中国・四国」「九州」地区歯科医師会役員連絡協議会協議題について
3. 針刺し事故について

■ 令和5年度 第10回定時理事会（通算15回）令和5年11月14日（火）午後12時45分 口腔保健医療センター

I. 承認事項

1. 沖縄県歯科医師会死亡共済金申請について
2. 沖縄県歯科医師会会員（第1種）の退会について

II. 議事事項

- 第1号議案 沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会委員の推薦に関する件
- 第2号議案 推奨品継続延長（ライオン株式会社）に関する件
- 第3号議案 沖縄県歯科医師会推奨品認定依頼（サンスター株式会社）に関する件
- 第4号議案 沖縄在宅医療推進フォーラム2023の後援に関する件
- 第5号議案 沖縄県薬事審議会委員の推薦に関する件

III. 協議事項

特に無し

IV. 報告事項

1. 沖縄県医療審議会出席報告
2. 令和5年度社会保険情報ネットワーク連絡協議会（第21回）出席報告
3. 令和5年度社会保険指導者研修会出席報告
4. 令和5年度九州各県医療管理担当者会出席報告
5. 令和5年度九州各県歯科医療安全対策担当者会出席報告
6. 令和6年度8020研究事業の公募について
7. 香りへの配慮に関する啓発ポスター（周知依頼）について
8. 令和5年度沖縄県災害医療コーディネート研修の開催について
9. 医療機関への支援に関する「重点支援地方交付金」の活用について
10. 水銀血圧計等の改修促進に向けた周知への協力依頼について
11. 「令和5年度九州・沖縄地区医療安全に関するワークショップ」の開催について
12. 日本スポーツ・健康づくり歯学協議会解散について
13. 健康経営セミナーについて
14. 「災害危機管理セミナー」参加者募集に係る周知協力について
15. 健康保健証廃止の取り組みへ支援の依頼について
16. 令和5年度沖縄県学校保健功労者の被表彰者の決定について
17. 歯科保健事業功労者厚生労働大臣表彰等の表彰制度の見直しについて
18. 歯科用医薬品の適正な取引の推進について
19. 日本歯科医師会主催「嚙下機能評価研修会～嚙下内視鏡検査実習～」の開催について
20. 委員会報告
  - ①学校歯科
  - ②地域保健
  - ③医療管理

V. その他

1. センターの診療状況について
2. 幟案について
3. 歯科医師の募集について
4. 令和5年度第1回沖縄県・沖縄県歯科医師会連絡会議について

## 編集後記

8月の台風により、20年以上使用して来た我が歯科医院のシャッターの柱が折れてしまった。根元が錆びついていたらしい。その為にシャッターのスラット（薄い板）の部分が柱から外れてねじ曲がり、シャッターの開閉が出来なくなってしまった。

直ぐに業者に連絡するのだが、なかなか来てくれない。状況すら確認してくれない。台風直後という事で忙しく人手が足りないらしい。他の業者にあたって同じ返答。

それから1ヶ月後、やっと現場に来てくれた。

寸法を測り、見積りを取り、これから発注だそうだ。更に1ヶ月かかるらしい。しょうがない。

シャッターが壊れてから約3ヶ月、やっと待ち続けた修理の日が来た。ところが、発注ミスで現在使用中のシャッターとデザインが違ったらしい。通常はスラットのみだが、当医院のやつはグリル（パイプ）とスラットを連結したもののらしい。

まじかよー！天を仰いだ。そりゃあないでしょう！

これから再び発注し直しだ。悲しい！

あれから3ヶ月。既に11月も終わり、師走に入ろうとしている。

いったい、いつになったら我が歯科医院のシャッターは元の状態に戻るのでしょうか？

これもおそらく人手不足の影響なのだろう。

ふと思った！

残念ながら我が歯科医院と同じである。

上地 栄作

### 沖縄タイムス「歯の長寿学」 原稿募集について

沖縄県歯科医師会は、月1で沖縄タイムスの「歯の長寿学」欄に会員の先生のコラムを掲載しています。

内容は、歯の健康にまつわる事なら、なんでも構いません。報酬はありませんが、医院名や先生のお名前は掲載されますので、イメージアップにつながるかと思います。

1. 掲載内容：歯の健康について(分かりやすく中学生が理解できる程度で、面白い内容をお願いします)
2. 文字数：800字
3. 掲載日：第3水曜日
4. 送付先：沖縄県歯科医師会事務局  
・メール：okisi@okisi.org ・Fax：098-996-3562 ・郵送：〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-1
5. 原稿料：なし

\*誠に申し訳ありませんが、原稿の採用および掲載日については、広報委員会に一任頂きたいと思っております。

\*同じタイトルや同じような内容の投稿に関しては、掲載されないこともあります。

\*掲載が決まりましたら事前に校正していただくことがございます。

\*ご不明な点がございましたら、事務局または広報委員までお問い合わせください。

### 沖縄県歯科医師会HPについて

沖縄県歯科医師会のホームページ(<http://www.okisi.org/>)では、「歯医者をさがす」のコーナーで、会員の先生方の医院の紹介をしています。内容に誤りや変更がある場合、訂正いたしますので、事務局までご連絡ください。

また、ホームページ全体の改善点やご要望がありましたら、事務局または広報委員まで、ご意見お寄せください。

広報委員：平良 和枝、上地 栄作、上原かんな、島袋 亮、砂川 和徳、張江 昌宏

### 令和5年4号

印刷日：令和5年12月1日

発行人：(一社)沖縄県歯科医師会

編集人：平良 和枝

発行日：令和5年12月1日

☎098 (996) 3561

印刷：(株)ちとせ印刷

<http://www.okisi.org/>

E-mail [chitose.f@gamma.ocn.ne.jp](mailto:chitose.f@gamma.ocn.ne.jp)

## 8020達成者認定証の発行について

平素より本会会務運営にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、このたび本会では会員からご推薦いただいた8020達成者に標記の認定証を発行する事といたしました。

つきましては、該当者がいらっしゃいましたら別添の推薦様式にて、ご推薦いただきたく存じます。

過去に8020表彰を受けていらっしゃる方も認定証という事で改めて対象になります。

認定証は会員診療所に送付いたしますので、会員から達成者にお渡しいただきたく存じます。

会員各位のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



### 連絡先

沖縄県歯科医師会事務局

TEL : 098-996-3561 FAX : 098-996-3562

## 8020達成者推薦書

沖縄県歯科医師会会長 殿

推薦者

医院名： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

令和 年 月 日

以下の通り推薦申し上げます。

| 8020達成者推薦書          |   |        |
|---------------------|---|--------|
| 氏名                  | ふりがな<br>-----   | 性別     |
|                     |   | 男・女    |
| 生年月日(年齢)            | 明・大・昭 年 月 日 ( )歳                                      |        |
| ご本人連絡先              | 住所  | 〒( - ) |
|                     | 電話番号  |        |
| 現在歯数                | 本   |        |
| 自立状態<br>(あてはまるものに○) | ① 自力歩行可    ② 介助有りて歩行可    ③ 車いす<br>④ 外出困難    ⑤ その他 ( ) |        |
| 補綴状態<br>(あてはまるものに○) | ① 不要    ② 良好    ③ 要改善                                 |        |
| 特記事項                |   |        |

※県歯事務局へ郵送またはFAXにてご提出ください  
(FAX : 098-996-3562)



# 会員動向

会員：令和5年11月1日 現在508人

## 内 訳

| 種 別     | 男   | 女  | 計   |
|---------|-----|----|-----|
| 1 種 会 員 | 309 | 45 | 354 |
| 2 種 会 員 | 15  | 3  | 18  |
| 3 種 会 員 | 36  | 16 | 52  |
| 4 種 会 員 | 1   | 0  | 1   |
| 終 身 会 員 | 71  | 12 | 83  |
| 計       | 432 | 76 | 508 |

## 正会員地区別

| 地 区       | 男   | 女  | 計   |
|-----------|-----|----|-----|
| 北 部 地 区   | 23  | 1  | 24  |
| 中 部 地 区   | 119 | 16 | 135 |
| 南 部 地 区   | 222 | 36 | 258 |
| 宮 古 地 区   | 15  | 7  | 22  |
| 八 重 山 地 区 | 16  | 0  | 16  |
| 計         | 395 | 60 | 455 |

## 入・退会状況（1種・2種・終身）（正会員）

| 種 別   | 男 | 女 | 計 |
|-------|---|---|---|
| 入 会 者 | 3 | 0 | 3 |
| 退 会 者 | 3 | 0 | 3 |
| 計     | 0 | 0 | 0 |

## 入・退会状況（3種・4種準会員）

| 地 区   | 男 | 女 | 計 |
|-------|---|---|---|
| 入 会 者 | 3 | 1 | 4 |
| 退 会 者 | 0 | 1 | 1 |
| 計     | 3 | 0 | 3 |

## 退会会員（4名）

| 氏 名     | 日 付       | 理 由               |
|---------|-----------|-------------------|
| 下 地 盛 叶 | 令和5年7月31日 | 一身上の都合(宮古地区) 終身会員 |
| 本 永 尚 司 | 令和5年3月31日 | 廃疾退会(南部地区) 1種会員   |
| 渡嘉敷 優 香 | 令和5年9月30日 | 一身上の都合 3種会員       |
| 中 里 治 通 | 令和5年9月30日 | ご逝去（南部地区会員）終身会員   |

## 会員動静（新入会員7名）

| 氏 名     | 生年月日      | 医 院 名                 | 就業所所在地                        | 出 身 校      | 卒業年月  | 会員種別 | 入会日       |
|---------|-----------|-----------------------|-------------------------------|------------|-------|------|-----------|
| 牧 野 秀 樹 | S36.10.19 | つがやす歯科こども歯科           | うるま市喜屋武384-3<br>きゃんメディカルプラザ2A | 奥羽大学歯学部    | S62.3 | 2種会員 | 令和5年8月1日  |
| 安 里 啓   | S63.11.30 | 広栄歯科                  | 浦添市西原1-9-3                    | 福岡歯科大学     | H26.3 | 3種会員 | 令和5年9月1日  |
| 護得久 朝 滋 | H1.2.21   | あらさき歯科クリニック           | 名護市大北5-22-25                  | 北海道医療大学歯学部 | R2.3  | 3種会員 | 令和5年9月1日  |
| 宮 里 優梨亜 | S62.4.25  | あらさき歯科クリニック           | 名護市大北5-22-25                  | 大阪歯科大学     | R4.3  | 3種会員 | 令和5年9月1日  |
| 伊 波 幸 作 | S57.4.10  | Kousaku DENTAL OFFICE | 那覇市安里1-5-1<br>ハーミットクラブ安里1F    | 福岡歯科大学     | H27.3 | 1種会員 | 令和5年10月1日 |
| 神 谷 規 明 | S56.1.24  | おきなわ矯正歯科              | 豊見城市真玉橋135<br>NPKビル2階         | 九州歯科大学     | H20.3 | 1種会員 | 令和5年10月1日 |
| 新 崎 啓 介 | H3.2.5    | 中部徳洲会病院歯科口腔外科         | 北中城村字比嘉801番地                  | 日本大学松戸歯学部  | H29.3 | 3種会員 | 令和5年10月1日 |

保険医療機関等の皆様へ（お知らせ）

令和5年度診療（調剤）報酬請求書等受付  
及び返戻レセプト等発送日について

令和5年4月～令和6年3月における診療（調剤）報酬請求書等の受付締切日等についてお知らせいたします。

なお、診療（調剤）報酬請求書等の提出については、請求省令により「診療翌月の10日まで」と定められておりますのでご留意願います。

| 受付月     | 受付締切日  | 受付開所日        | 返戻等発送日  |
|---------|--------|--------------|---------|
| 令和5年 4月 | 10日（月） |              | 4/4（火）  |
| 5月      | 10日（水） |              | 5/1（月）  |
| 6月      | 10日（土） | 10日（土）       | 6/5（月）  |
| 7月      | 10日（月） |              | 7/4（火）  |
| 8月      | 10日（木） |              | 8/4（金）  |
| 9月      | 10日（日） | 9日（土）・10日（日） | 9/4（月）  |
| 10月     | 10日（火） |              | 10/3（火） |
| 11月     | 10日（金） |              | 11/6（月） |
| 12月     | 10日（日） | 9日（土）・10日（日） | 12/4（月） |
| 令和6年 1月 | 10日（水） |              | 1/4（木）  |
| 2月      | 10日（土） | 10日（土）       | 2/5（月）  |
| 3月      | 10日（日） | 9日（土）・10日（日） | 3/4（月）  |

※ 受付時間は9:00～17:30までとしておりますので、ご協力の程よろしく願います。



沖国保連第1057-2号

令和5年1月24日

保険医療機関（保険薬局） 各位

沖縄県国民健康保険団体連合会

事務局長 高良 昌英

（公印省略）

令和5年度診療（調剤）報酬請求書等の提出日及び診療報酬支払日について

本会の診療報酬審査支払業務につきましては、平素より格別なる御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、みだしのことについては、請求省令により提出日は『診療翌月の10日まで』と規定されておりますが、本会では審査支払業務を円滑に実施するため受付協力日を別紙（裏面）のとおりといたしました。また、支払日についても掲載しています。

については、受付日程への御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※本会ホームページへも掲示いたしておりますのでご確認ください。

ホームページアドレス「<http://www.okikoku.or.jp/>」

お問合せ先

沖縄県国民健康保険団体連合会 審査課

TEL：098-863-2473

別紙

令和5年度 レセプト受付日と診療報酬等支払日（国保）

|          | レセプト受付協力日 | レセプト受付締切日     | 診療報酬等の支払日 |
|----------|-----------|---------------|-----------|
| 令和5年 4月  | 7日(金)     | 10日(月)        | 20日(木)    |
| 令和5年 5月  | 9日(火)     | 10日(水)        | 22日(月)    |
| 令和5年 6月  | 9日(金)     | 10日(土)<br>*開所 | 20日(火)    |
| 令和5年 7月  | 7日(金)     | 10日(月)        | 20日(木)    |
| 令和5年 8月  | 9日(水)     | 10日(木)        | 21日(月)    |
| 令和5年 9月  | 8日(金)     | 10日(日)<br>*開所 | 20日(水)    |
| 令和5年 10月 | 6日(金)     | 10日(火)        | 20日(金)    |
| 令和5年 11月 | 9日(木)     | 10日(金)        | 20日(月)    |
| 令和5年 12月 | 8日(金)     | 10日(日)<br>*開所 | 20日(水)    |
| 令和6年 1月  | 9日(火)     | 10日(水)        | 22日(月)    |
| 令和6年 2月  | 9日(金)     | 10日(土)<br>*開所 | 20日(火)    |
| 令和6年 3月  | 8日(金)     | 10日(日)<br>*開所 | 21日(木)    |

※ レセプトの受付締切は、10日(必着)です。(請求省令により毎月10日までと定められています)

※ 受付窓口は、午前9時から午後5時までです。

※ 12月は早期提出に御協力をお願いします。

※ 令和5年4月9日(日)、7月9日(日)、9月9日(土)、10月9日(月)、12月9日(土)、令和6年3月9日(土)は閉所となり、支払基金の受付日程とは異なりますのでご注意ください。

郵便等により送付される場合は、安全確実な方法にて毎月1～10日必着をお願いします。

お問合せ先  
沖縄県国民健康保険団体連合会  
TEL 098-863-2473 (審査課)

保険期間：令和5年12月1日午後4時から1年間（中途加入できません）

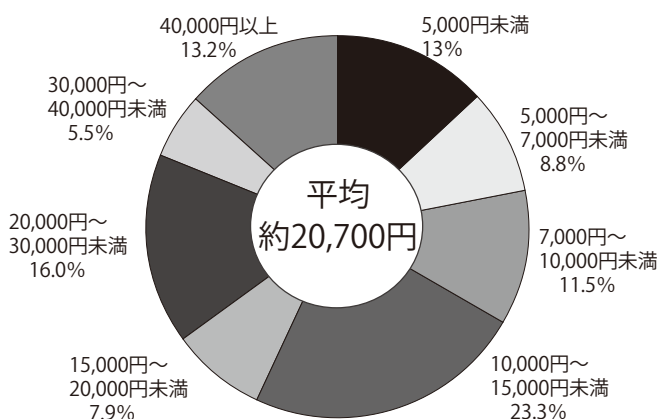
# 新・団体医療保険のご案内

（医療保険基本特約・疾病保険特約・傷害保険特約セット団体総合保険）

## ご存知でしょうか？

医療費ってこんなにかかるんです!!

入院1日あたりの平均自己負担額は平均約**20,700円**!



(注1) 左記金額は、過去5年間に入院した人の自己負担費用の平均値。(高額療養費制度※)を利用した人、利用しなかった人(高額療養費制度の適用外など)とも含みます。

(※) 高額療養費制度を利用した場合は利用後の金額。治療費・食事代・差額ベッド代に加え、交通費(見舞いに来る家族の交通費も含む)や衣類、日用品費などを含みます。

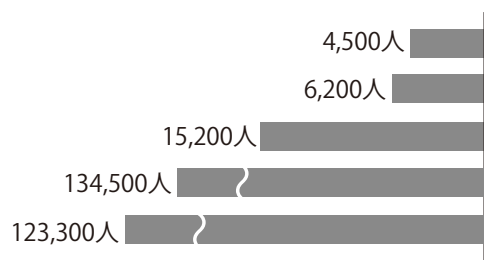
生命保険文化センター「2022(令和4)年度 生活保障に関する調査」

(注2) 高額療養費制度の詳細については、厚生労働省のホームページをご覧ください。  
(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/iryuhoken13/dl/100714a.pdf>)

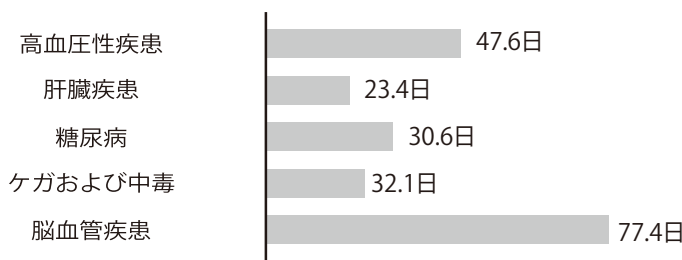
病気で入院する人ってこんなに多いんです!!

1人あたりの平均入院日数は平均約**32.3日**!

傷病別の推計入院患者数 (単位: 人/日)



傷病別の退院患者の平均在院日数



[厚生労働省『患者調査』(令和2年)による]

平均の負担額と入院日数によると…**20,700円×32.3日=約668,610円**

突然の高額出費で家計が大変なことに…。

### お問い合わせ先

取扱代理店 有限会社 オーディーエー  
 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川218-1 (担当: 奥原)  
 TEL・FAX: 098-996-3572 (受付時間: 9:00~17:00)

引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社 沖縄支店 法人支社  
 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-21-1 國場ビル1F  
 TEL: 098-861-4577 FAX 098-864-1580

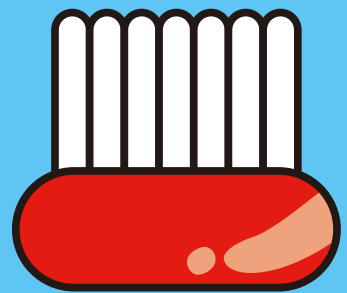
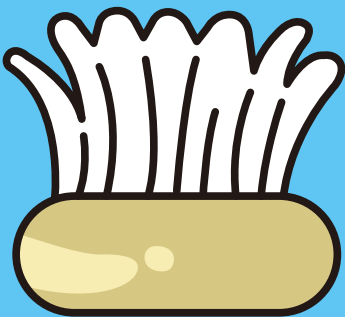
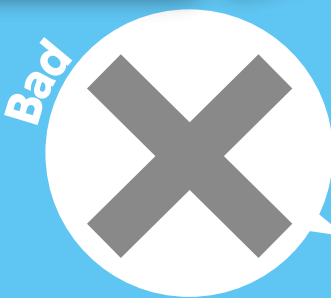
沖縄県の  
健康長寿復活に向けて



毎月  日は

沖縄県歯科医師会制定

# 歯ブラシの日



日本歯科医師会PRキャラクター よ坊さん (沖縄県)



(一社) 沖縄県歯科医師会

TEL 098-996-3561